荒木飛呂彦

「正しい道」とはなんだろうと思う。
愛とか正義を願う気持ちを持つあまり、間違った道に迷い込んだらどうしようと思う。
それが正しいのか誤った道なのか、どうやって「2つ」を見分ければ良いのか？　誰か教えてくれるというのか？　愛する気持ちゆえに愛する者を傷つけてしまったら、どうやってそこを抜け出せば良いのか？　ジャイロとジョニィも、レースに係わる者は全員、その状況下にある。「祈り」しか方法はないのか？

●ウルトラジャンプ・H18年2月号〜4月号掲載分収録

荒木飛呂彦

JUMP COMICS

STEEL BALL RUN
スティール・ボール・ラン

VOL. 8

（男の世界へ）

STEEL BALL RUN
スティール・ボール・ラン
VOL. 8
荒木飛呂彦
集英社

9784088741192

1929979003906

ISBN4-08-874119-6

C9979 ¥390E

定価 本体390円+税

雑誌 42982−19

4th.STAGE中盤、時間を戻す事のできるスタンド使いに行く手を阻まれたジャイロ達。奇襲を仕掛けるが、返り討ちに遭い、ジョニィとホット・パンツは瀕死の重傷を負う。残されたジャイロ…今、男と男の闘いが始まる!

ジャンプ・コミックス

対峙する
男の美学!!
STEEL BALL RUN
スティール・ボール・ラン
VOL.8
ウルトラジャンプにて大好評連載中
（詳細は裏面に）
時代にとり残された
男・リンゴォ。
研ぎ澄まされた
美学に
ジャイロが
挑む！
荒木飛呂彦
◆
集英社
交錯するそれぞれの思惑…
次の遺体は誰の手に!?
奇才・荒木飛呂彦が
描く驚愕のストーリー
『STEEL BALL RUN』
ジョジョの奇妙な冒険
Part7
ULTRA JUMP
HYPER AGE MANGA MAGAZINE
ウルトラジャンプ
(毎月19日発売)
にて大激走連載中ッ!!
ウルトラジャンプ・ホームページアドレス
http://ultra.shueisha.co.jp
次の遺体は
4th.STAGEゴール
カンザス・シティに!

JUMP COMICS

ジョジョの奇妙な冒険 Part7

STEEL BALL RUN

男の世界へ

vol.8

ARAKI HIROHIKO

& LUCKY LAND COMMUNICATIONS

ジャイロ・ツェペリ

ネアポリス王国の法務官。不思議な鉄球を、自在に操る特殊能力を持つ。国家叛逆罪で捕まったマルコの無罪を信じ、彼を救う手段である「国王の恩赦」を得る為にレースに参加。遺体の一部「右眼」を持つ。

ジョニィ・ジョースター

元天才騎手だが、慢心から半身不髄となる。ジャイロの鉄球の力に希望を見い出し、秘密を知る為、レースに参加。遺体の一部「左腕」を持つ。

ファニー・ヴァレンタイン

第23代アメリカ合衆国大統領。ＳＢＲレースを利用して、遺体を集めようとしている。ジャイロ達が遺体の一部を所有している事を知り、テロリストを送り込む。遺体の一部「心臓」を持つ。

1st.STAGE、走行妨害によるペナルティを受け、1位を逃してしまったジャイロは、勝利を確実にする為、ジョニィと協力関係を結ぶ事に。
2nd.STAGE、アリゾナ砂漠の真ん中で、突如ジャイロとジョニィに襲いかかるテロリスト達。彼等の狙いは、『不思議な力』が身に付くという『悪魔の手のひら』と呼ばれる土地で、ジョニィの左腕に取り憑いた『ミイラ化した左腕』。なんとＳＢＲレースは大統領の陰謀により、アメリカ中に散らばったある人物の遺体を集める為のレースだったのだ！　遺体の力で爪を回転させ発射させる能力（タスク）を得たジョニィはスタンドに希望を感じ、残る遺体を集める事を決意する。
続く3rd.STAGE、二つ目の遺体『眼球』を目前にしたジャイロ達に、またもテロリストが襲いかかる。戦いの最中、追い詰められたジャイロは、偶然にも『眼球』を手に入れ、新たな鉄球の力で敵を圧倒する。しかし、その隙にもう片方の『眼球』は、遺体の秘密を知ったディオに奪われてしまった！

START
SAN DIEGO

4th.STAGE、ジャイロ達は『眼球』の暗号から、次の遺体がゴールのカンザス・シティにある事を知るも、ステージ中盤の果樹園地帯で迷い、出られなくなってしまう。同じく迷った3rd.STAGE１位のホット・パンツと共に辿り着いた人家には謎の男が…。「自分を倒さなくてはここから出られない」、と言うその男に対し３人は!?

砂男サンドマン

ネイティブアメリカンの青年。白人に奪われた部族の土地を取り戻す為、己の足のみでレースに参加。

ディエゴ・ブランドー

通称ディオ。イギリス下層階級出身の天才騎手。ＳＢＲレースに優勝し、栄光と権力を手に入れる為に参加。遺体の一部「左眼」を持つ。

"STEEL BALL RUN" RACE

全行程中にニューヨークを含め９ヵ所のチェックポイントを設定。そこでレース順位、走行タイム、不正行為を確認する。そして各チェックポイント間のレースを『STAGE』と呼び、STAGEごとにトップ通過者には賞金とタイムボーナスが与えられる！

GOAL
NEW YORK

4th.STAGE 1,250km

『スティール・ボール・ラン』レースとは
太平洋『サンディエゴ』ビーチをスタートし
ゴールを『ニューヨーク』とする
人類史上初の乗馬による北米大陸横断レースである！
総距離約6,000km　優勝賞金5千万ドル!!（60億円）
世界各国から屈強の冒険者達が集い、
その数は3600人を超えた！

そして1890年9月25日　午前10時00分
ついに世紀のレースはスタートした！

スティール夫人

スティールを支える妻。夫を「よちよち」となだめる彼女は弱冠14歳!?

スティーブン・スティール

40年のキャリアを持つプロモーター。ＳＢＲの主催者。

STEEL BALL RUN

vol.8

CONTENTS

男の世界へ

#34 男の世界 その②

ゴ
……
ゴゴゴ
ゴ
ゴ
ゴゴ

ゴゴゴ
ゴ
ゴゴゴ
ホット・パンツさんよ 足跡をたどるのはもう頼りにならないぜ
すでにおまえさんもオレらも何度も何度もここを通過してるから入り乱れちまっている
方位磁石でもだめだしな

道を曲がるたびに木に「印」をつける
この果樹園のどの地点で「迷う」のか…？
確実に見ながら進むんだ
家の前のこの道をまっすぐ行ったら次のコーナーを「左」
つきあたりはもう一度「左」

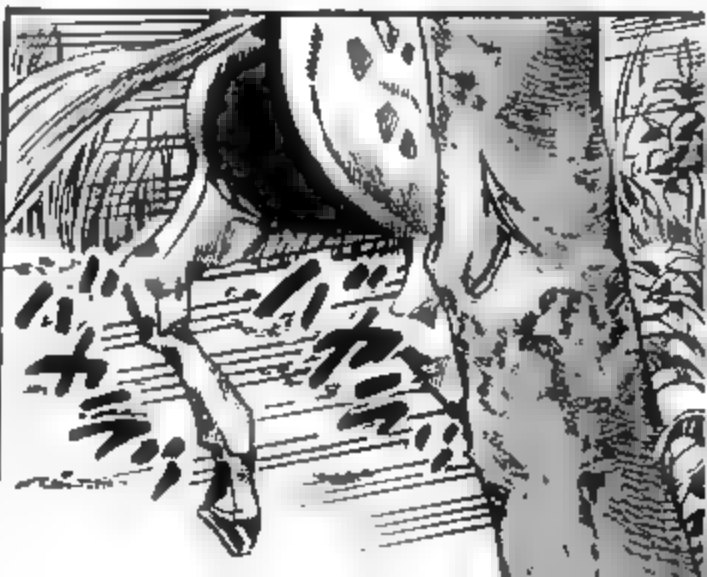
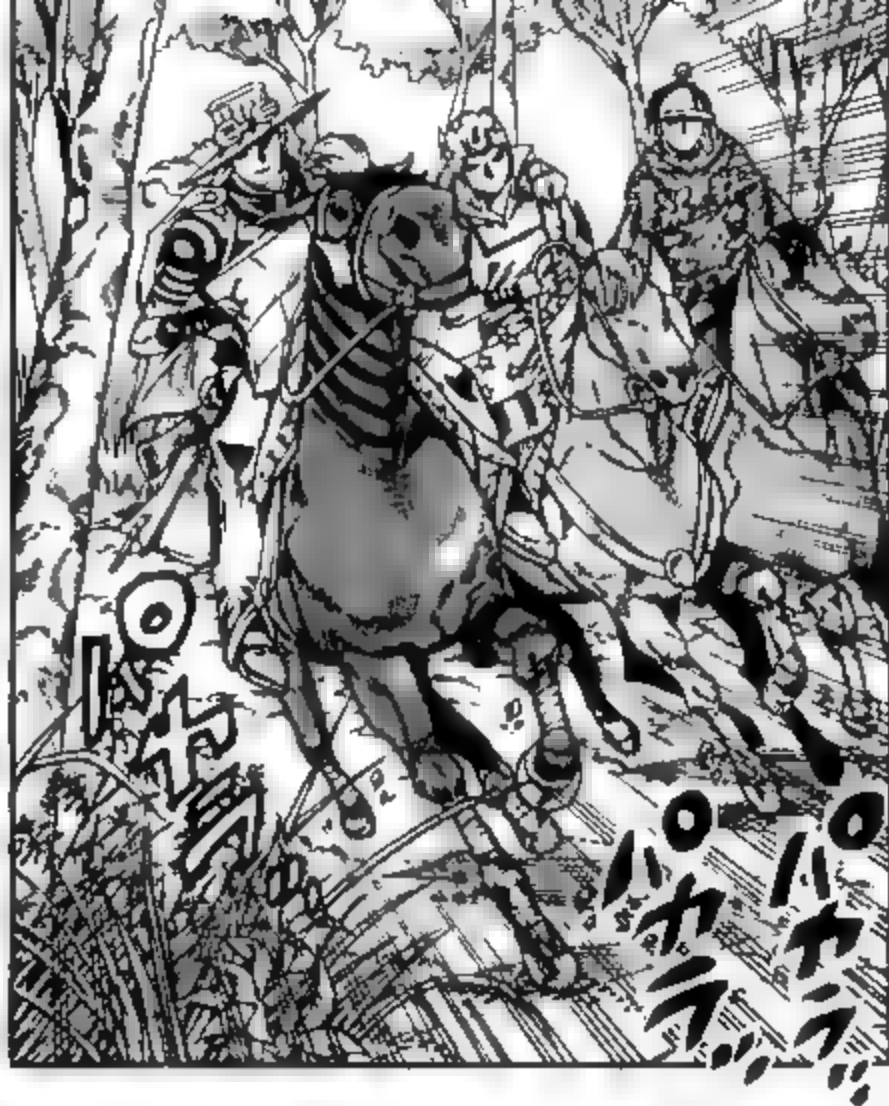
……
パカラッ
パカラッ
……
……

ジョニィ！
もう一度
行くぞッ！
木の「印」をたどるんだ
もう2時間近い
ロスになってる
今度こそだ
今度こそ
ここを出るぜ
ジョニィ
「印」はどこだ？
行くぞ
す……
すでに…
探したよ
この木だ
「印」は
この木にある

でも考えられない…
いったいなんなんだ？
どういう事かまるでわからない
確かに曲がる時・・・ぼくはこの木だけに傷をつけた

…………

…………

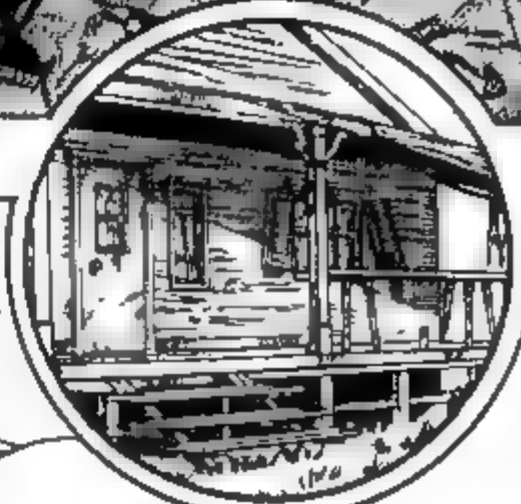
つけたのはこの木だけなんだッ！

おい ジョニィ!!
何やってんだ!?
印をつけるのは道を曲がった時だけと言ったろうッ!
だからそうしたと言ってるじゃあないかッ!
曲がる時 君だって見ていたッ!!
どういう事だ!? 誰が傷をつけたっつーんだ

何が何だかさっぱりわからないッ！
いったい何なんだこの場所はッ！
しかもこの「文字」はッ！この「傷」はッ!!
そうだッ！全部ぼくの「筆跡」だッ！

ぼくがつけているッ!!なぜ4つにも5つにもぼくの「字」が増えているんだッ！
示す方向もバラバラだッ!!

「敵」はやはりあの小屋の男って事か？

『スタンド攻撃』

これは……それだって事なんだな……？何時間も前からすでにオレたちは攻撃されていた

『目的』がわからない

もし「敵」ならオレらを迷わせて「何をしたい」のか？

あの男がなぜガウチョと撃ち合ったのか!?

……さっき あの男は ガウチョに こう言った

『自分を倒さなくては ここから出られない』……と

……いや

『殺さなくては』……だったかな

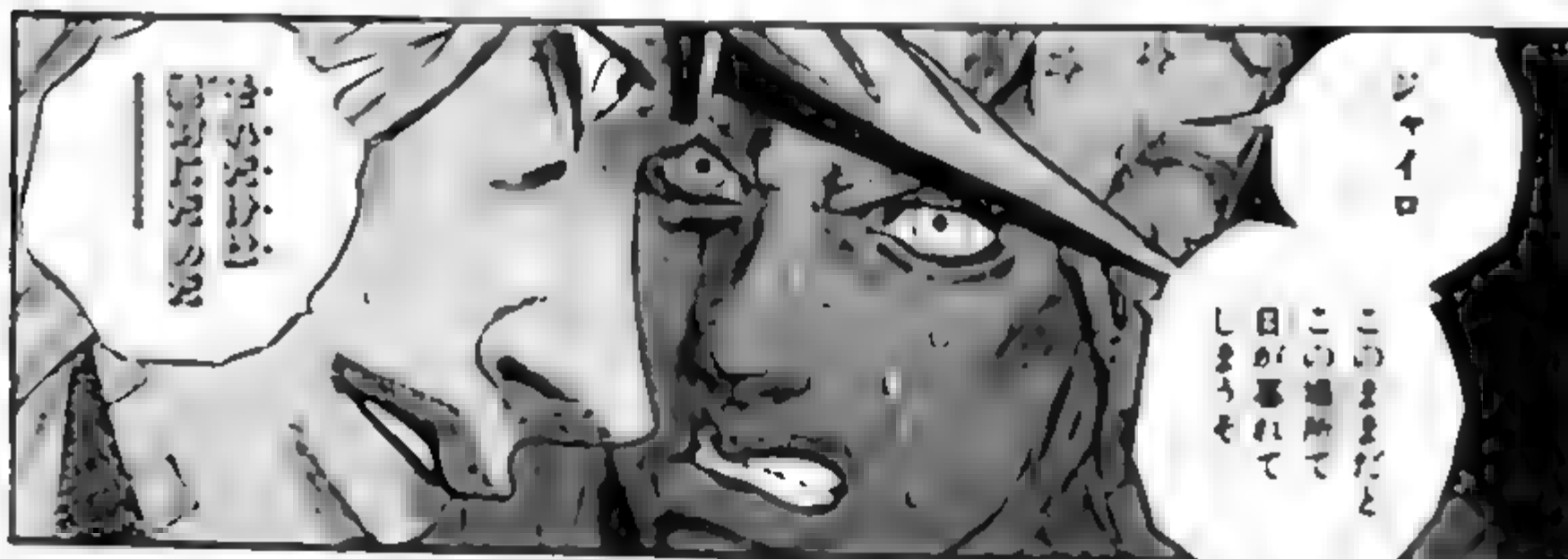
どういう事なのか……？ あいつの所へ行って 答えてもらおう じゃあないか！

そこでだ……

もし ヤツが「敵」と 確定したなら

『3対1で ヤツを始末する』 …その取り決めで いいな？

ガウチョが
殺されている

今現在「DIO」が どの地点を 走っているか 知らないが 夜を越したら一日以上 差が開く
DIOに「カンザス・シティ」に 先に行かれて しまう
それだけは……
絶対に！
いやだ……!! あいつにだけは！

次の「遺体」は
渡したくない……!!
いや 誰だろうと!
テロリストだろうと!
そうだろ!? ジャイロ

君は
そうじゃあないのか!?

この状況はリスクを
最小限で脱出しなくては……!!

いいか…
確定したらだ…
もし「敵」と
ハッキリしたなら

奇襲をかける

それは
オレがやる…

君らが
ヤツと話せ

その間に
オレは
ヤツの背後に
回って

そして
仕とめる
3対1だ

それで
いいな?

ヤツの背後に
回るだって?

そんな事がおまえに出来るのか？
ヤツは眠った猫じゃあないいんだぜ
ドン
バー

うっ！
うおっ!!

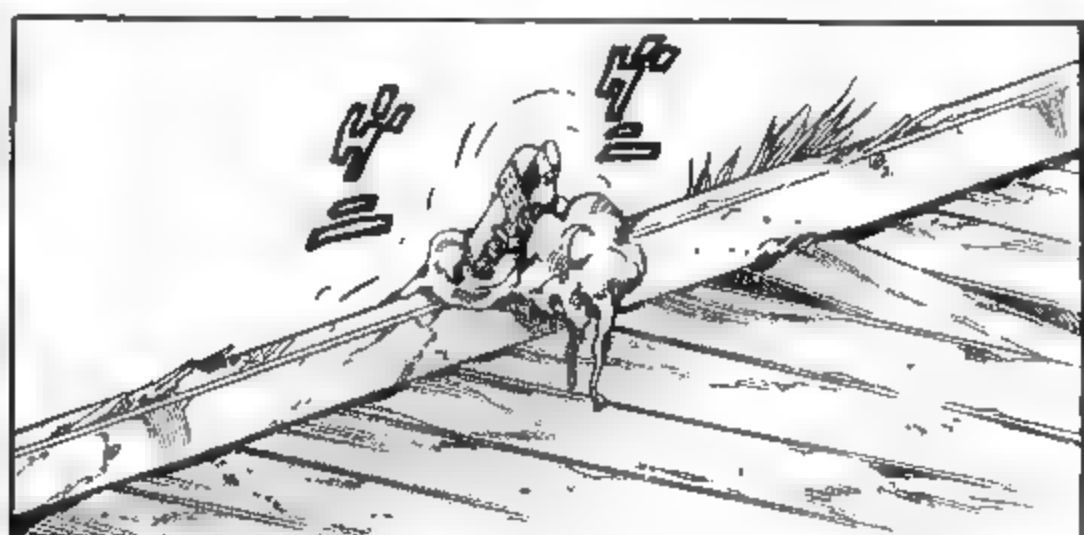
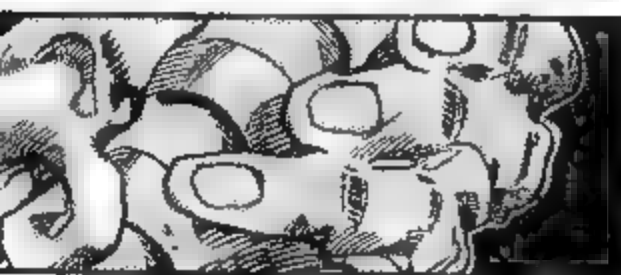
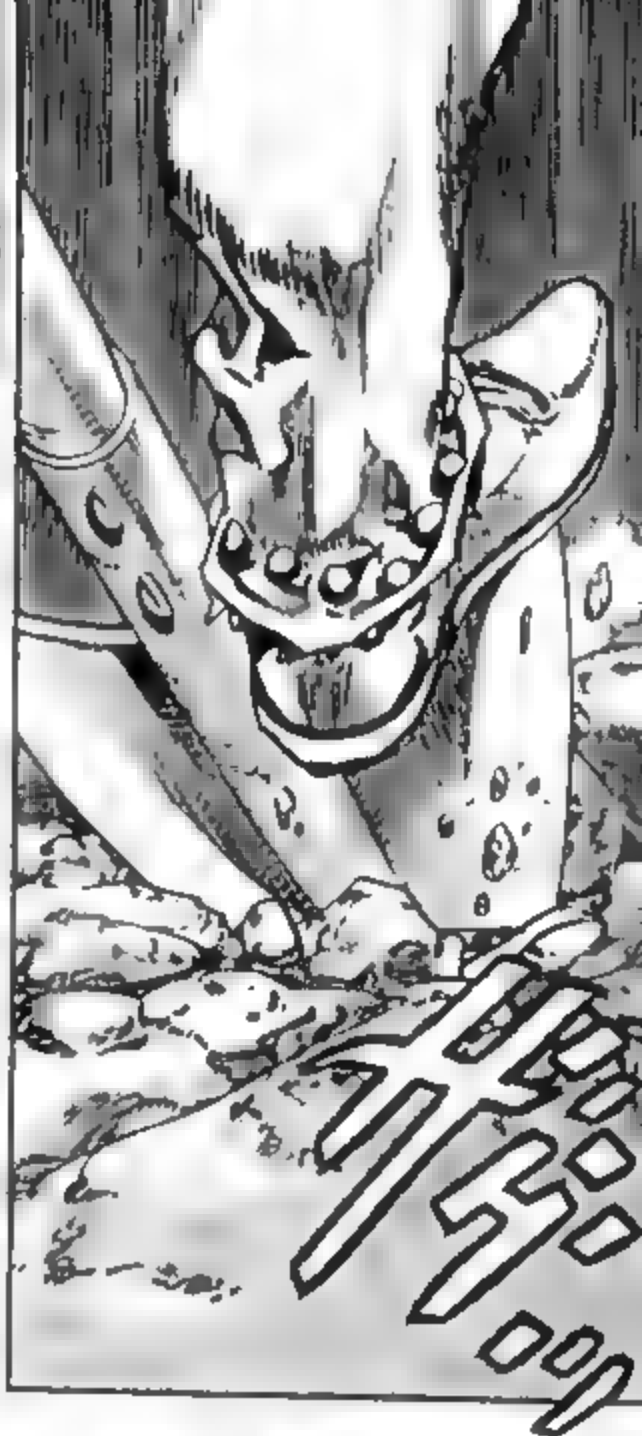
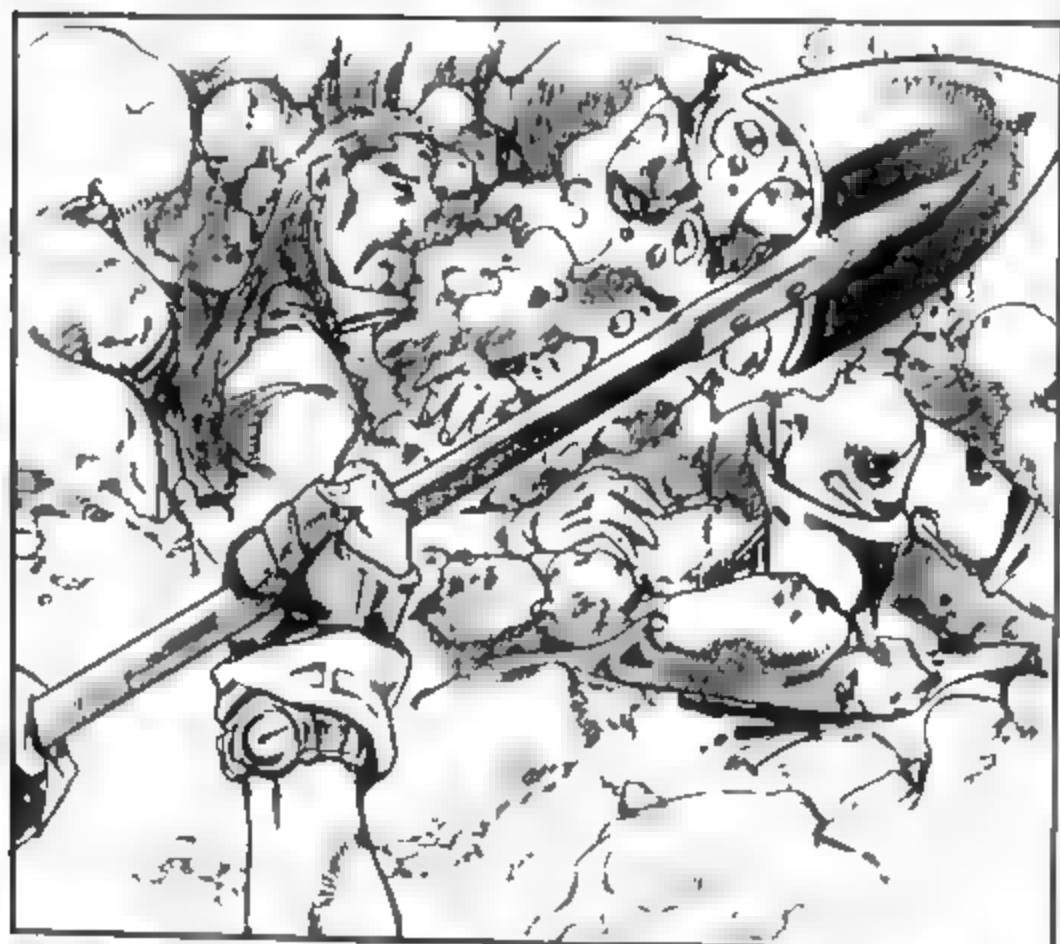
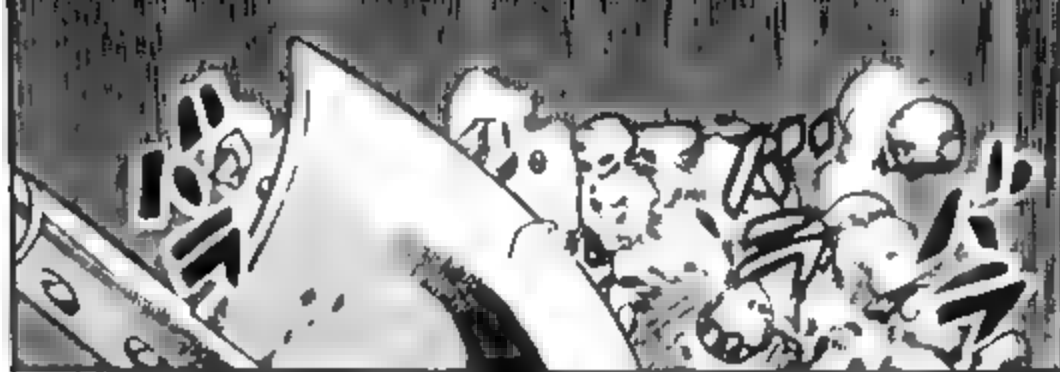
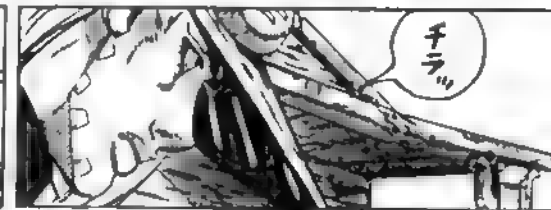
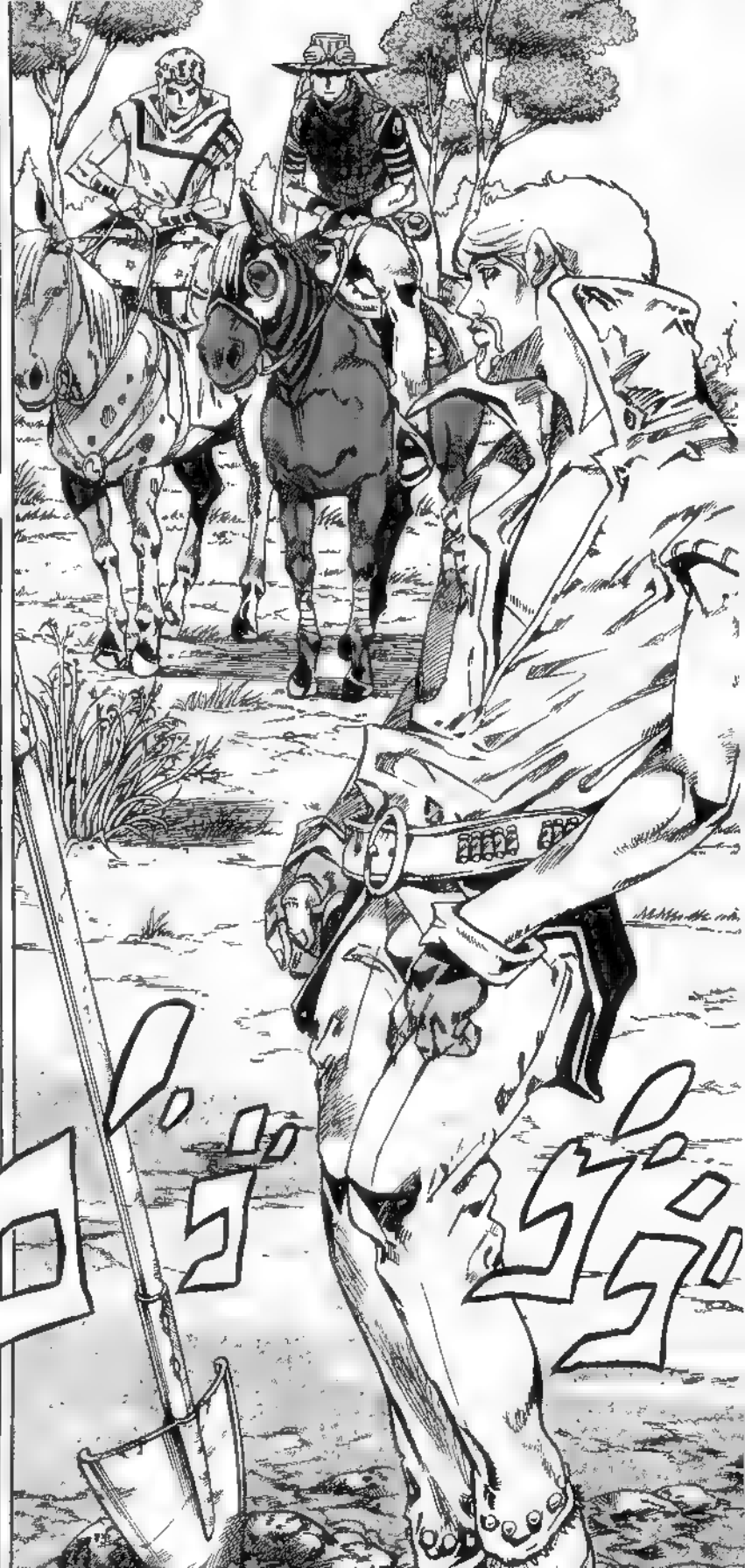
ベキャ
グン
グニ
グニ
「クリーム・スターター」…………
オレの「手」が
ヤツの背後に回る…
ヤツの所へ行きなよ
片をつけて
ここを出て行こう
……
……

……

あんたは何者だ…？

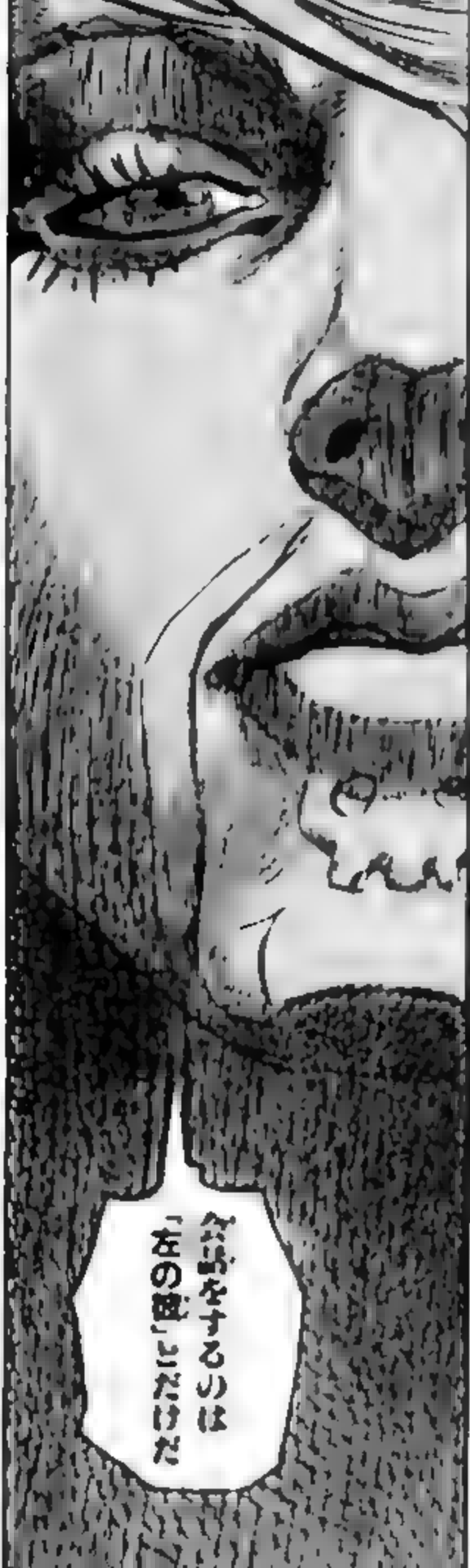
目的を話してもらおう……

なぜガウチョを殺した？

ゴゴゴゴ

チラッ
ゴ ゴ ゴ
会話をするのは……
ひ・と・り・ず・つ・に・したい
どちらかひとり あそこの彼くらいまで 後ろに下がって もらえないか……
……あのなあ
今の質問に サッサと答えな
おまえさんが 何をしたいとかは オレたちには 関係ねえ事だ

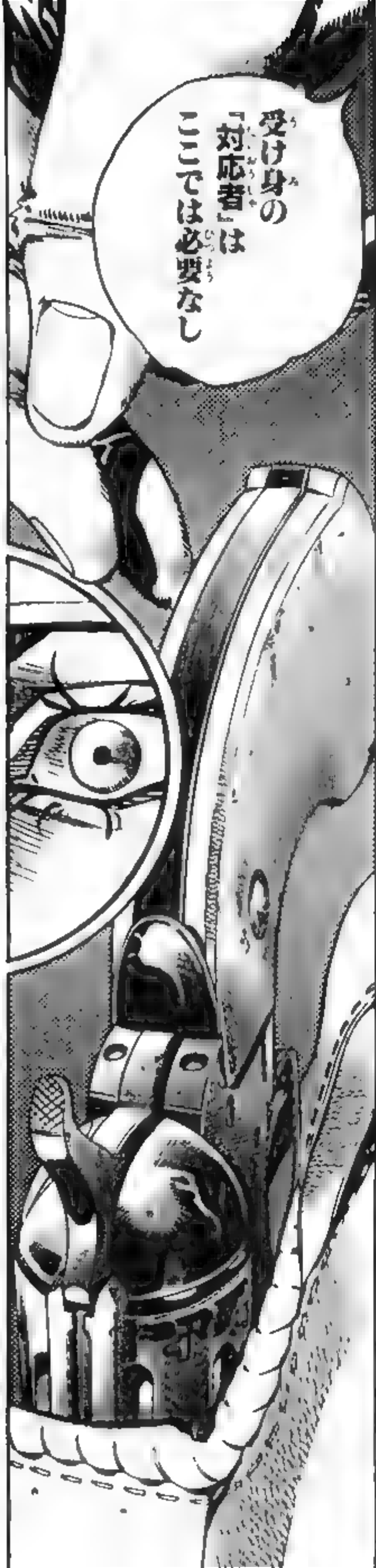
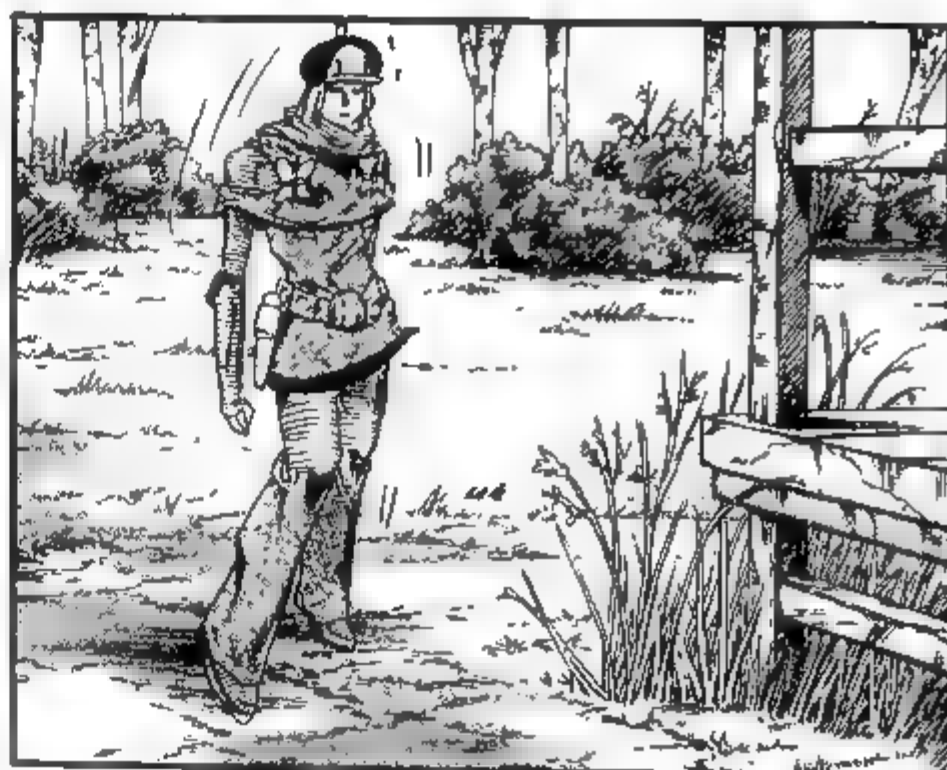
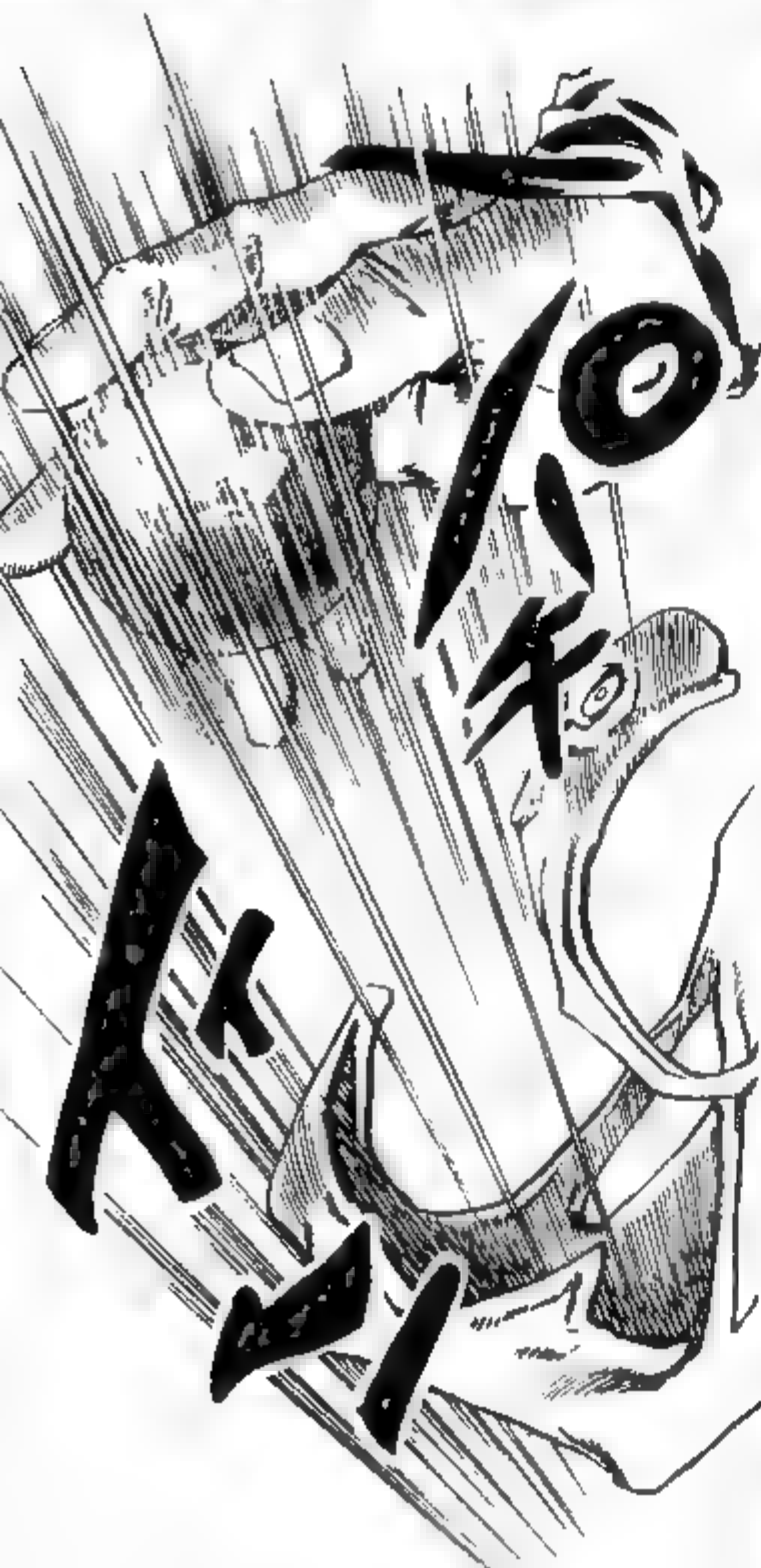
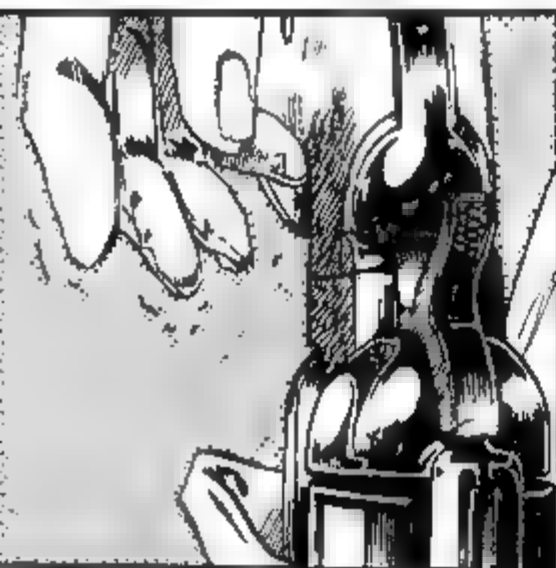
もし ここで今から オレと撃ち合いに なるとしたなら……
……だ……
君はオレに 勝てない
「左の腕」なら 可能性はある
だから君が 後ろに下がれ
会話をするのは 「左の腕」とだけだ

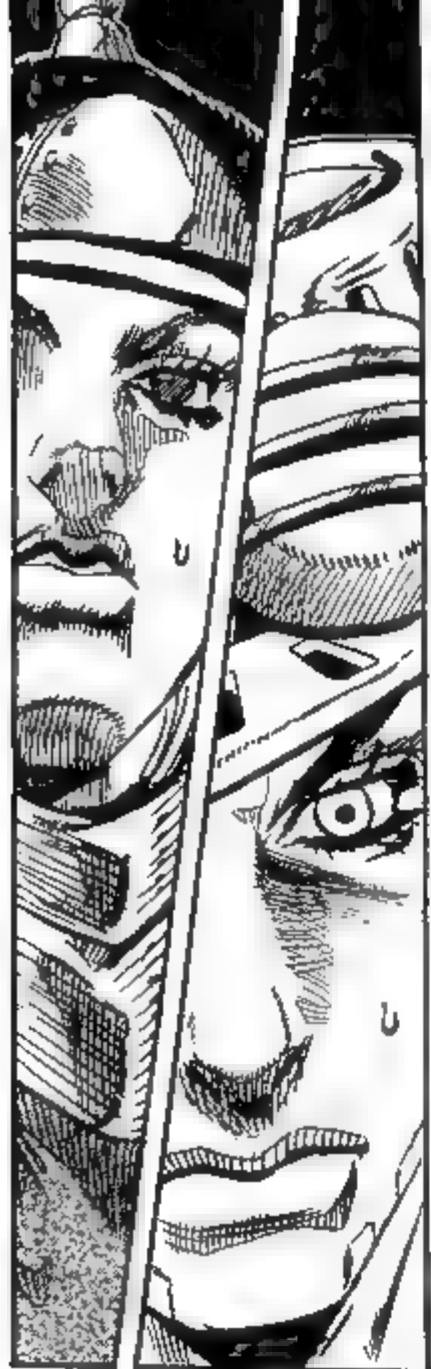
……

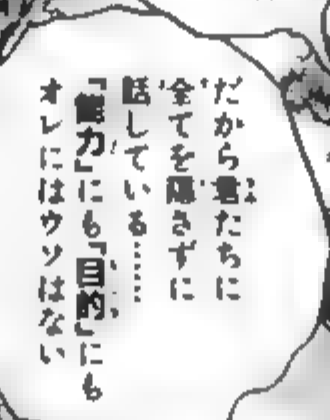
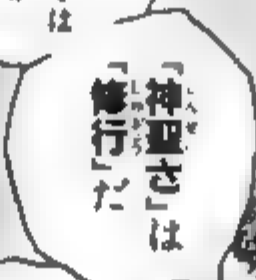
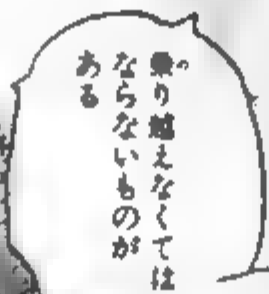
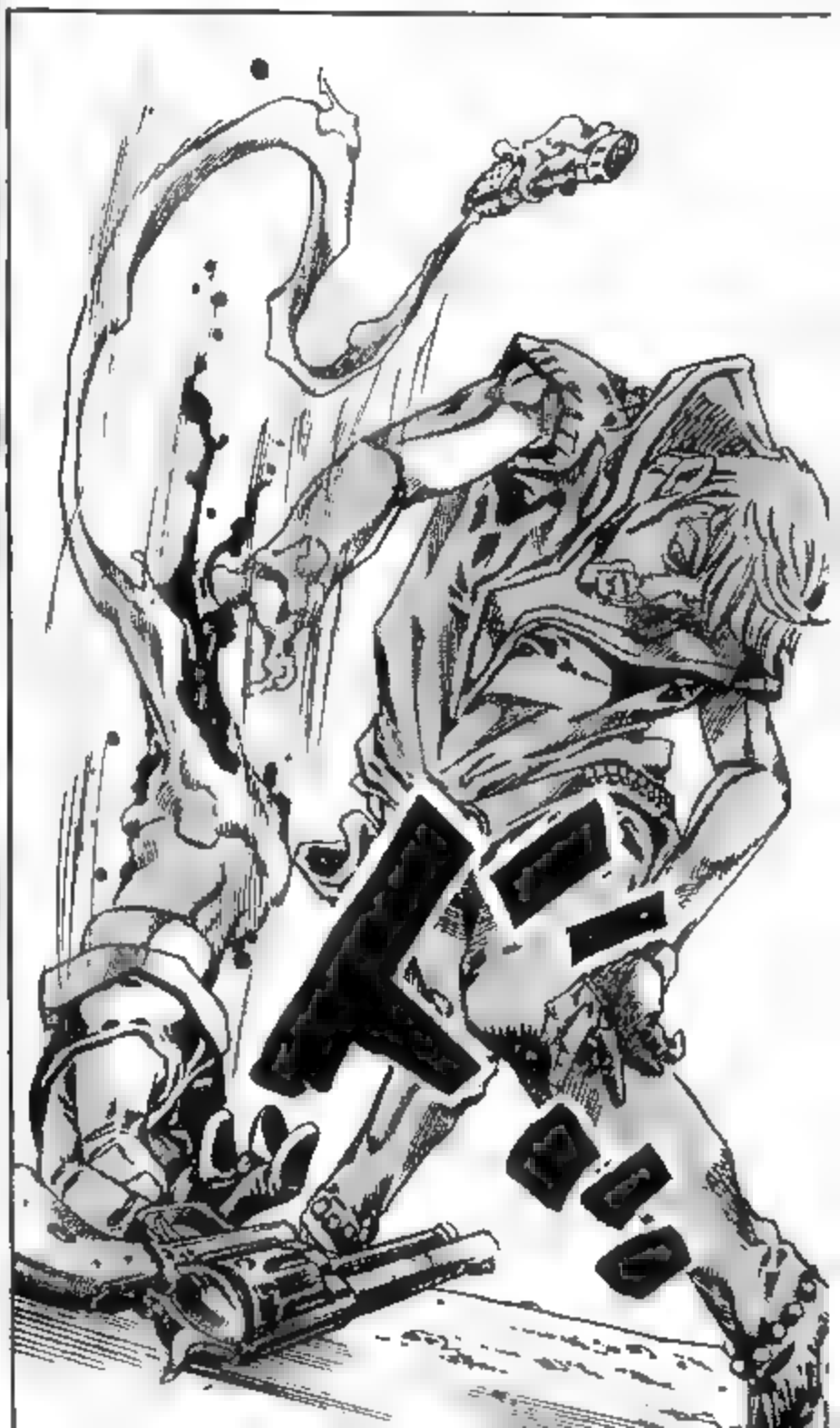
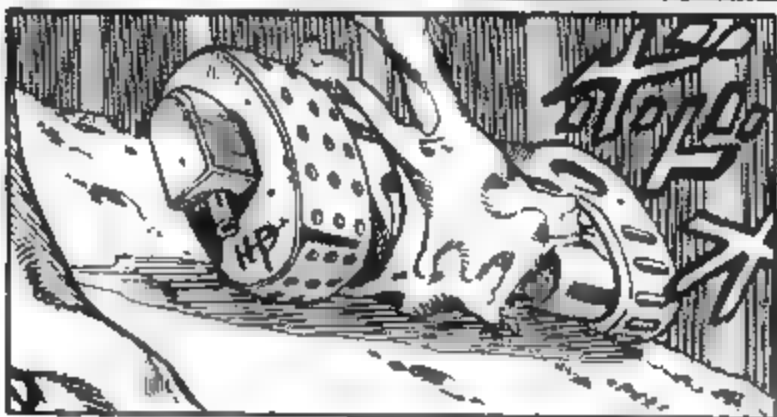
……
悪い事は言わない…君は下がれ
もう少しだけ話をしてやろうか……？
左の彼にはいざという時オレを殺しにかかる「漆黒の意志」が心の中にある…
だが君はそうではない…そういう「性」
だから下がれそれが理由だ

君はオレが攻撃したらそれに「対応」しようとしている
それが心体にこびりついている
「才能」ではすぐれたものがあるのかもしれないがこびりついた「正当なる防御」ではオレを殺す事は決して出来ない
受け身の「対応者」はここでは必要なし

……
こいつは……
この男は……
パチ

はッ！

パァアア ア ア
うう……!!
これは……
今のは……
ハア
ハア
なんだと……
わずかにそれる……鉄球が……
オレが投げても命中しないのか!?
急所に命中させる、
がない!
ハア
ハア
ハア
名は……
「リンゴォ・ロードアゲイン」
3年ほど前砂漠で「能力」を身につけた「スタンド使い」…
能力名は「マンダム」
そう認識していただきたい
おまえの狙いは何だ!?
「テロリスト」かッ! 政府と関係があるのかッ!?
遅れましたが自己紹介させていただく……

ほんの「6秒」
MANDAM
それ以上長くもなく短くもなく
キッカリ「6秒」だけ「時」を戻す事が出来る
これが「能力」

君らが
馬を駆っている時
……ほんの少し…
たったの
「8秒」だけ
「時」を戻しても
君らは その
ささいな事に
気付きもしない
だが ただ
「走り終わった」…という
「記憶」だけは残る
だから「曲がる予定」の
位置より手前で
道を曲がってしまう
事になる
周囲の風景に
区別がつかないなら…
「木」に印をつけても同様…
曲がる予定
8秒走った距離
キズをつけようとした
予定の「木」よりも
「8秒」も戻った手前で
その位置で
キズをつけて
「道」を曲がってしまう
16秒走った距離
ここまで戻って
曲がってしまう
そして
何度でも…
時を戻すのは
「8秒」以上さえ間隔を
空ければ 何度でも
繰り返して戻せる…

だから
この果樹園地帯からは
決して脱出する事は
出来ない
おまえの
狙いは…!?
ボクらを
迷わせるのが
何だというんだ!?
このオレを
「殺し」にかかって
ほしいからだ
公正なる「果し合い」は
自分自身を人間的に
生長させてくれる
卑劣さは
どこにもなく…
漆黒なる意志に
よる殺人は

人として未熟な
このオレを
聖なる領域へと
高めてくれる
「神聖さ」は
「修行」だ
乗り越えなくては
ならないものが
ある
だから君たちに
全てを隠さずに
話している……
「能力」にも「目的」にも
オレにはウソはない
よろしくお願い
申し上げます
どうする？
決めるのは
君たちだ…

真実で言っているのか？フザけてるのか？
こいつ…どうかしてる
反社会的と言いたいか？
今の時代……価値観が「甘ったれた方向」へ変わって来てはいるようだがな……
これが「男の世界」…………
おい やめるヤツ！もう行こう！ジャイロジョニィ！
そいつイカレてるぜ
ゆっくりと道を進んで行けばこんな所 間違えず抜けられるはずだ！
つき合ってらんねーな
もうそんなヤツにはかまうな
チラッ
ザッ
ザッ

よし！ジャイロ！ジョニィィ！
あとはまかせるぞッ！ヤツに左手でその銃を拾わせるなッ！
やれッ!!
う…うう
がはっ……
……
その銃をつかませるなぁぁあああ——ッ

60
5
つき合ってらんねーな
もうそんなヤツにはかま……

グルッ
えッ!?
スッ

バカなッ！
今のは!?
たしかにスプレーでヤツの腕に吹きつけたッ！
なんだって……
これは!?
今…たしかに
『6秒』だ
『6秒』だけ時を戻せる
それでスタンド能力「マンダム」のスイッチが入る
「公正」にだ……すでに公正にそれは話した
この腕時計の「秒針」をつまみそれだけ戻す

何度でも聞くぞ……
どうする？
オレを殺さなくては
ここからは絶対に
出て行けないッ！

ボグォ

ドドドドドド
ドドドド
ドドドドドドド

なに……

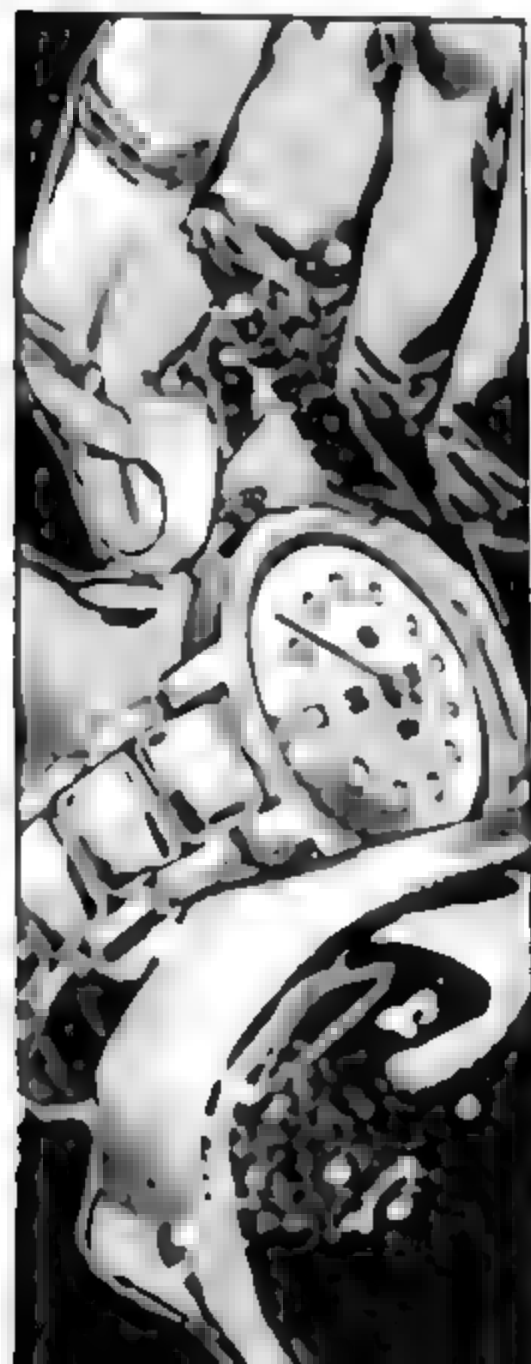
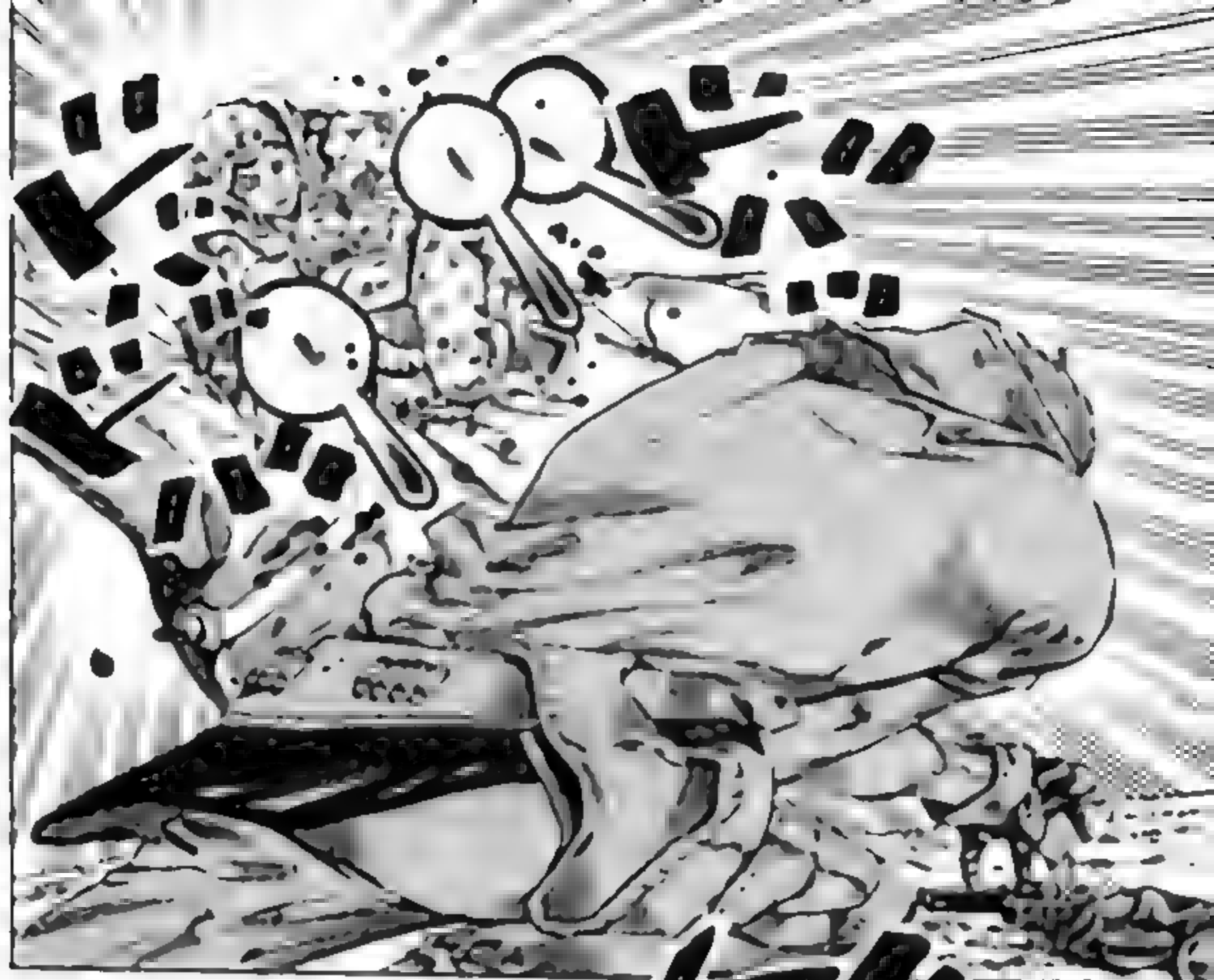
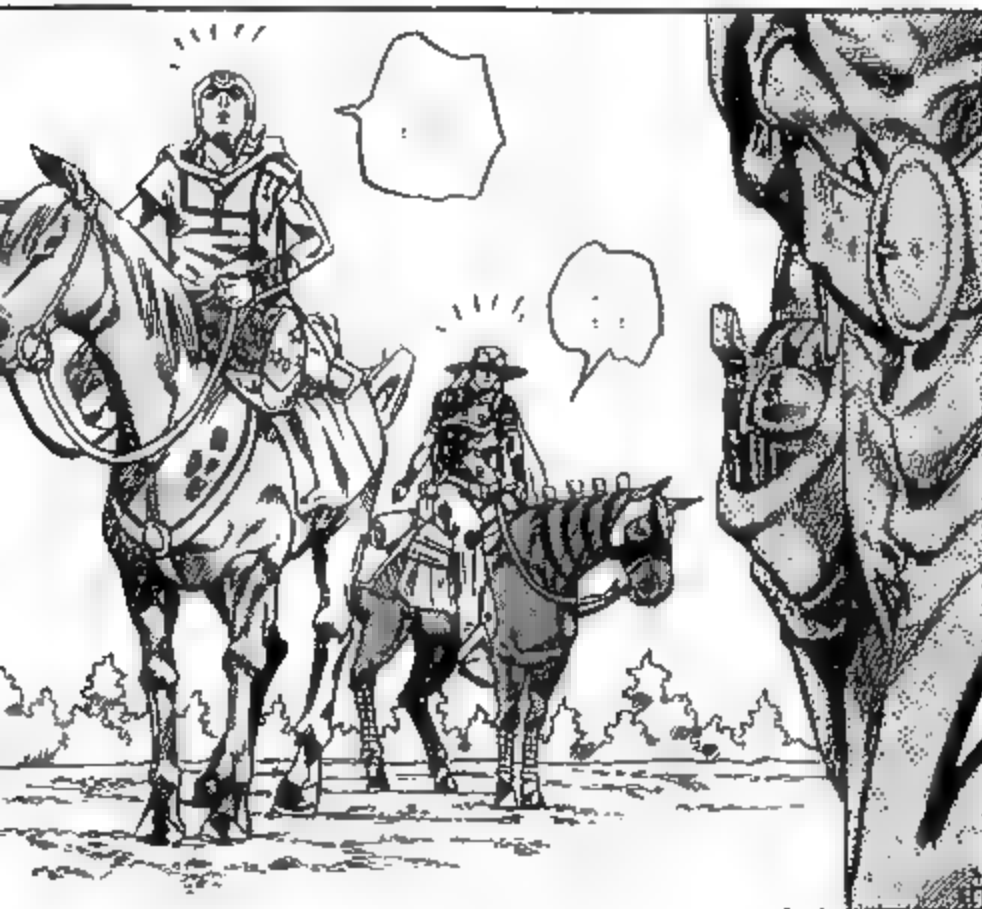
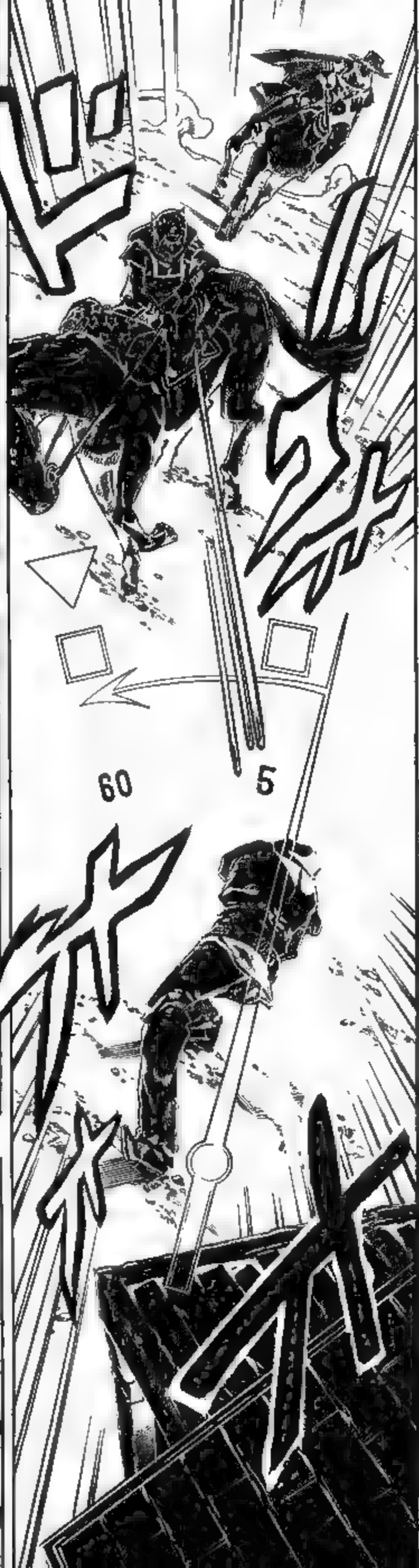
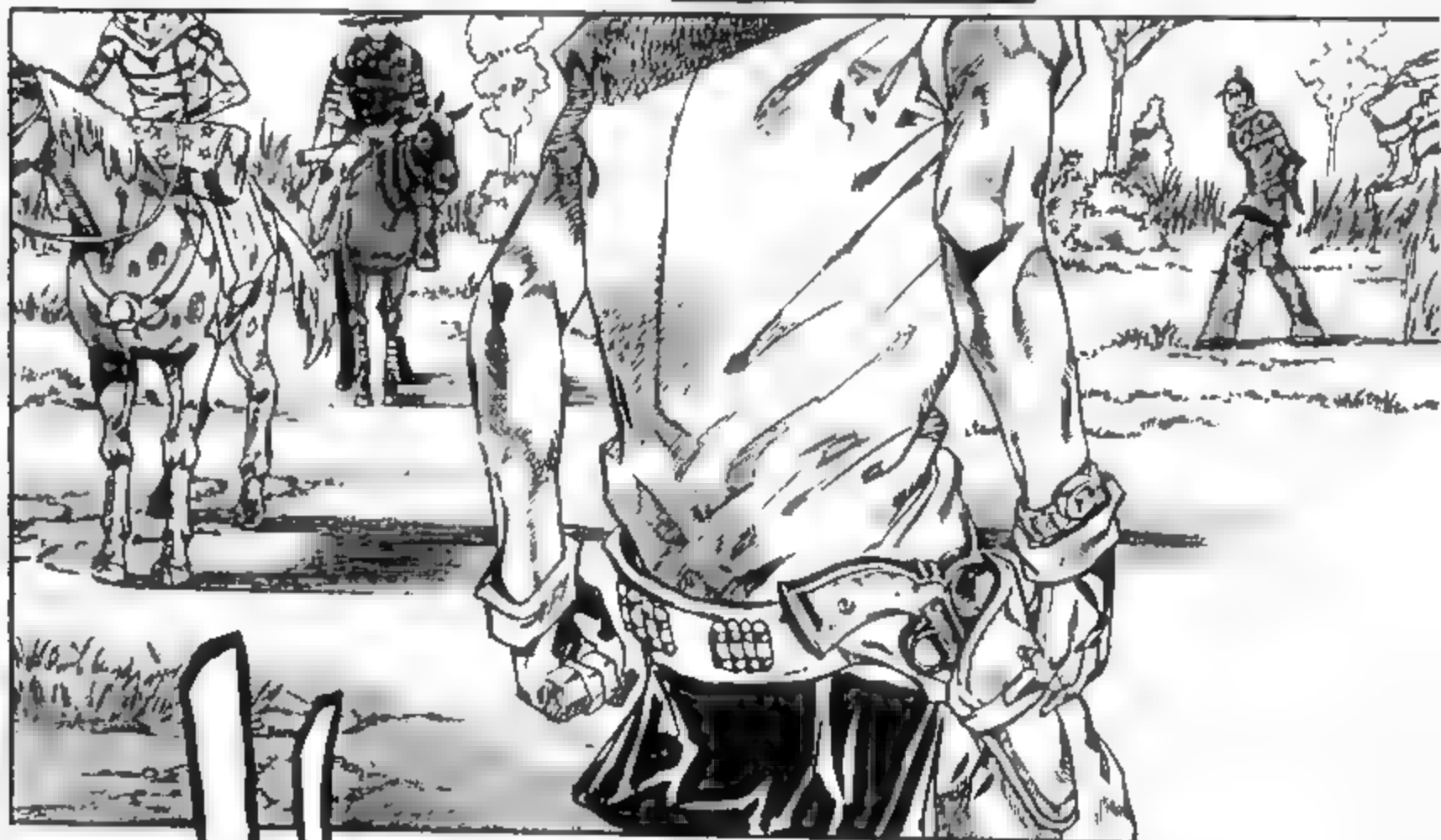
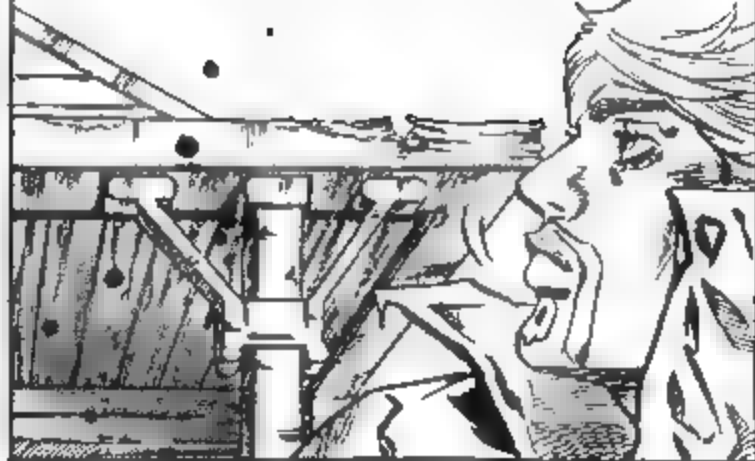
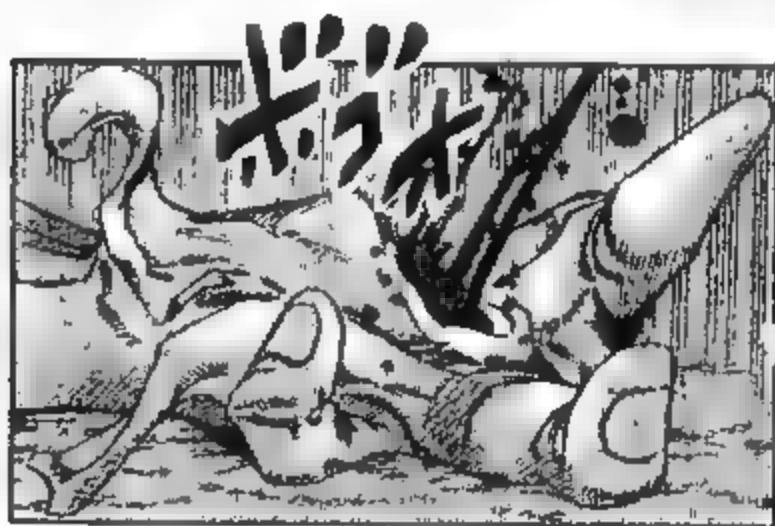
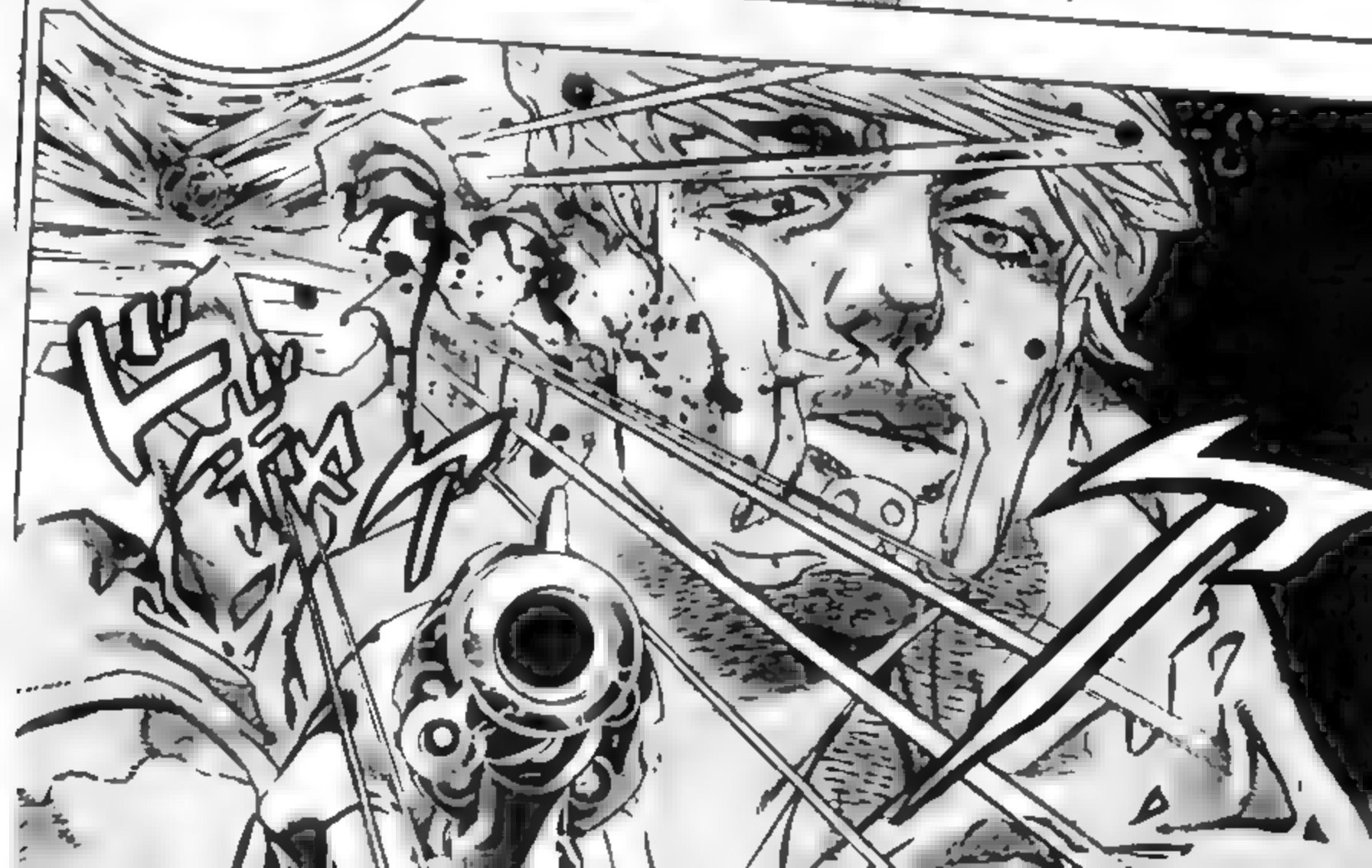
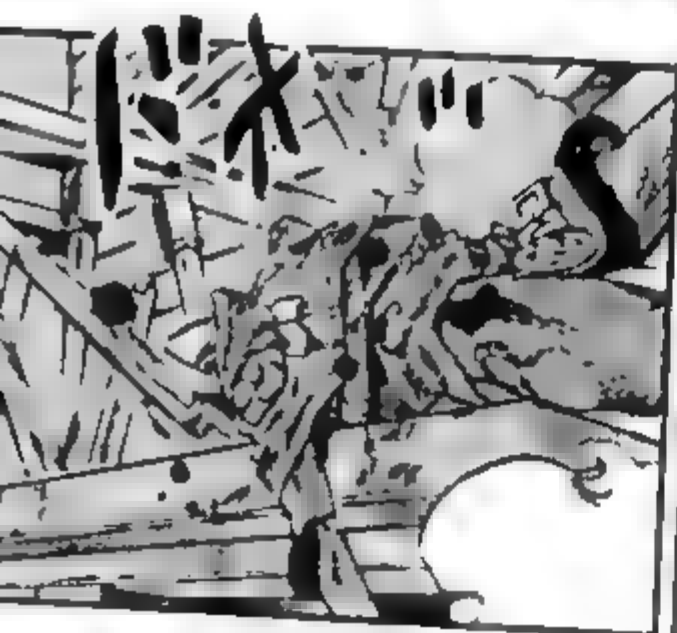
な…

ドバ
ド

バキ バキ
パキ
バキ
ばっ ばかなッ!!
ドドドドド

ジョニイイイイイィんんんんんんんんんんんん――――ッ

うぐっ

パキパキパキ
バキ
バキバキ
ドオ

ドドドド
……
ドドドド
ドドドド
やはり……
おまえは……
ジャイロ・ツェペリと いったか…
おまえは『対応者』に すぎないッ!
汚らわしいモッ!
それを放ったのは射程の外だ…!!
友を失ったから その『鉄球』を 放りやがって……
そんなのではオレを殺す事は出来ないッ!

がはッ
うう…
う…っ
ぐふっ！
ぐ
ジョ
ジョニィ……
この弾倉にはまだあと「一発」残っているが……
オレが仕とめるのは「漆黒の殺意」でオレの息の根を止めようとかかってくる者だけだ
おまえなんかにはとどめを刺さない……
出て行け……この果樹園から出してやる
ザッ
ドドドドドド

ギシッ

……………

目的はあくまで『修行』であり

人としてこの世の糧となるため……

そして「スタンド使い」としてオレを認めてくれ……そしてこの場所に送り込んでくれた「あの方」には恩義がある

このジョースターの「左腕」にあるとかの「遺体」は「あの方」のために回収させてもらう……

ドドドド

感謝いたします

う…

ううう

がはっ

うおおおおおおおおおおおおおお

バキ
バキ
ボトッ
コロコロ
コロコロ
……あいつ……
あの野郎 これは…ヤツの……
ワザとなのか……
それとも偶然か？
たしか あの銃は 一八七四年製コルト
……射程距離は……
「鉄球」がころがった…… この距離……

……ジョニィから一歩遠い

ジョニィは……まだ生きている

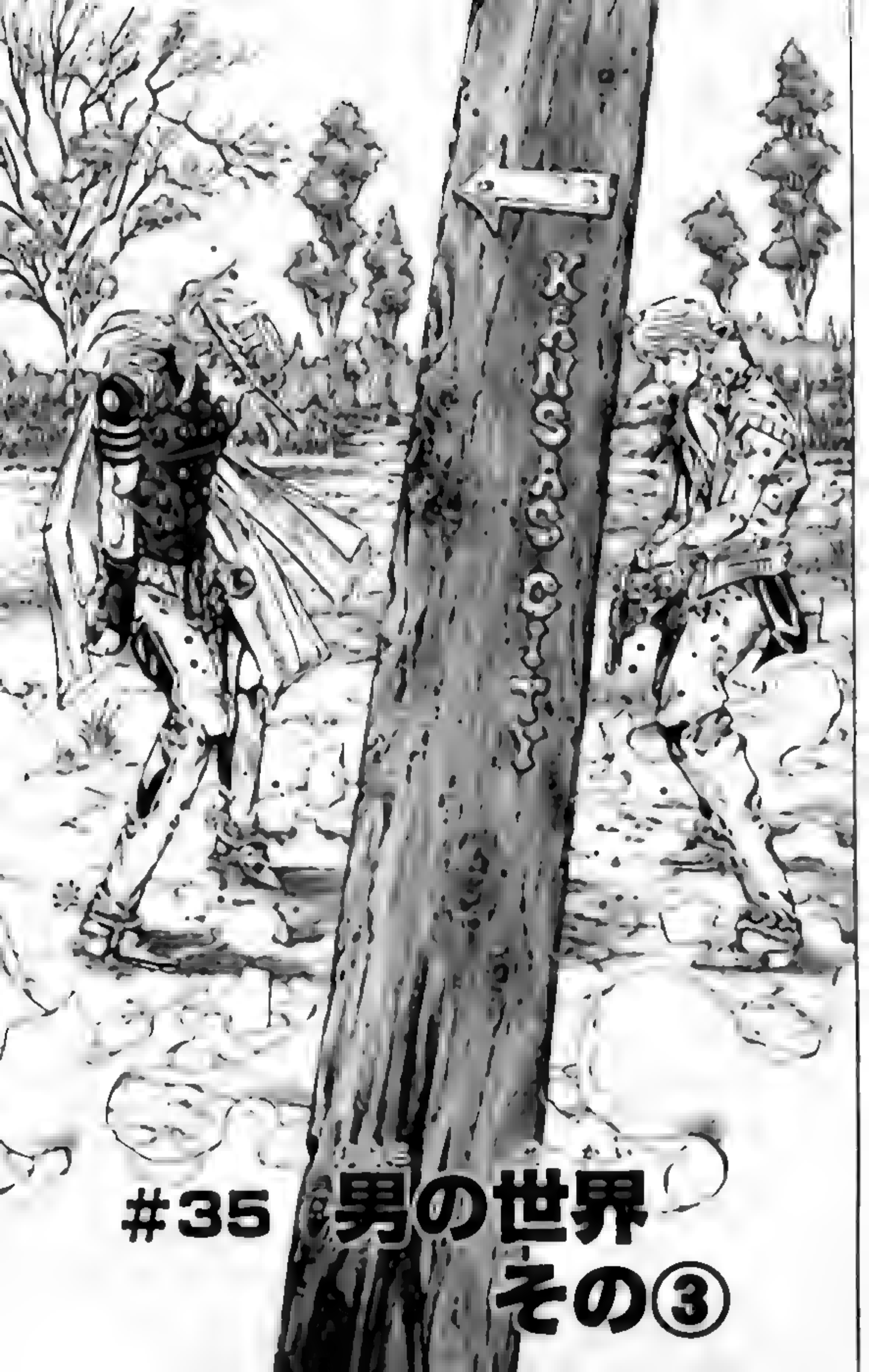
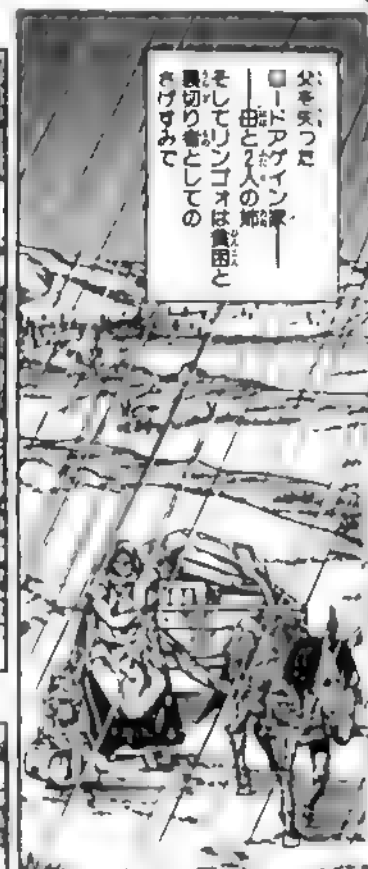
まだ脳は破壊されていない
弾丸はまだ頭蓋骨で止まっている

ド

ホット・パンツ

スタンド名─
「クリーム・スターター」

肉体をクリーム状にして
ふきつける。
相手の体に触れながら使
用すれば、その相手の肉
体が減っていく事になる。

#35 男の世界 その③

リンゴォ・ロードアゲインが幼かった頃
農夫であったリンゴォの父親は徴兵され戦争へ行き――
そして何があったのかは知らないが戦場から脱走した
その後捕えられるとどこかの牢獄で…病死した
父を失ったロードアゲイン家――母と2人の姉そしてリンゴォは貧困と裏切り者としてのさげすみで
生まれた土地にはいられなくなり全国を転々としなければならなかった
生まれつきリンゴォは皮膚が弱くちょっとした事ですぐ皮膚を切り出血した
どんな医者にかかっても原因はまるでわからず寝ているだけで肘をすりむいたしもし口の中を切ったりすると呼吸さえ困難になった
病床にふせる事が多く学校などは一度も行った事はなかった

かすかな光の中に
軍服を着た
見た事もない
大男が立っていた

男は体から
異様な臭いを放ち
何も考えていない牛のように
生のジャガイモを右手で
口にほおばっていた

そして男は空いている
リンゴォの首を絞めると
こう言った

こんな美しい

ゴゴゴ

ゴゴ
ゴゴ
ううう
うう
ゴゴゴ
ううう
ううう
ゴゴゴ

ハァ
うう――
ハァ
ハァ
ううう

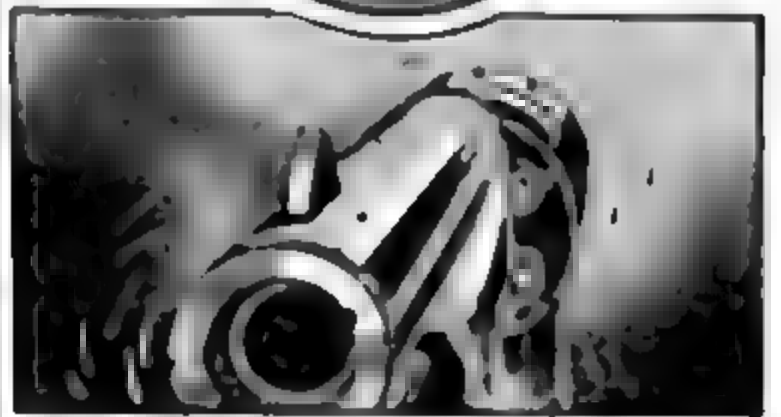
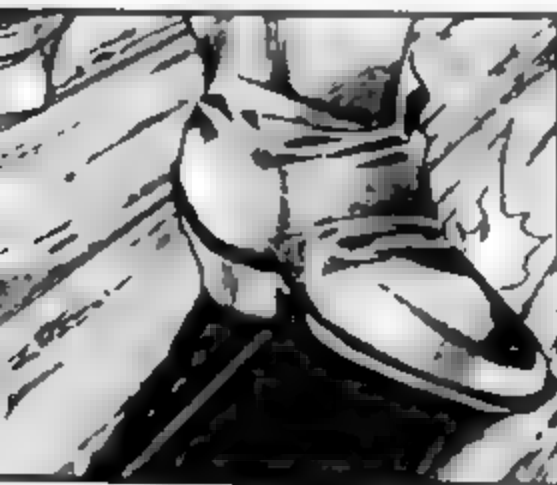
バ
美しい！
スゲェ美しいッ！
百万倍も
美しい！……
……
ありゃ
ガタ ガタ
ガタガタ

フフーー
ガタ
ガタ
ガタ
フフーー

ガタ

ううーうーっ
ブッ
ゲホッ

ガタ
フアーフアー

フーー
フーーッ

おまえ
よくここから通ったなあ～
けっこうスゴイじゃん！でもわかってんのか？
それってよォ悪いガキのする事だそれを軽々しくあつかうんじゃあない
フーーー
ブッ
ゲホッ ゲホッ
鼻血がよォいっぱい出てるぜ
大丈夫か？どこか病気なのか？スゲェ血が出てる
いいか!!……もし それを撃ったらどんだけの衝撃がおまえを襲うか考えてみろよ
もっと鼻血が吹き出るぜそりゃあ一生背が伸びなくなるくらいたくさんだ
しかも また怒っちゃあいないかオレも怒るぜ

もし撃ったら オレは ものすげく怒る! ただじゃあ おかねえからな… お前を殺す前に

おまえの母親と 姉貴どもの 両腕両脚を切り刻んで ブタどもの餌に してやるッ!

だがオレみたいな 軍隊出にゃあ わかる

ハアーッ

ハアー ハアーッ

おまえはいい子だ 撃てっこねえ… 銃を下へおけ

ハア ーーッ

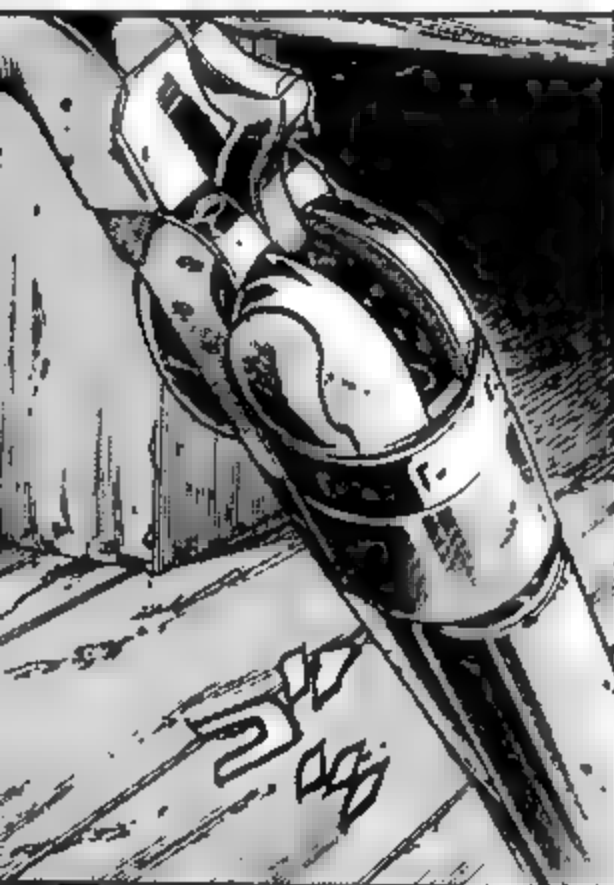
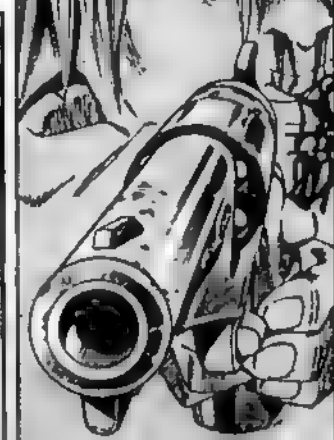
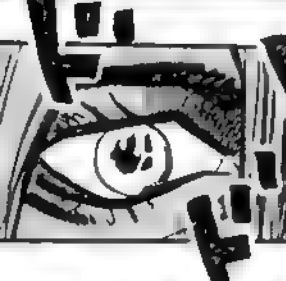
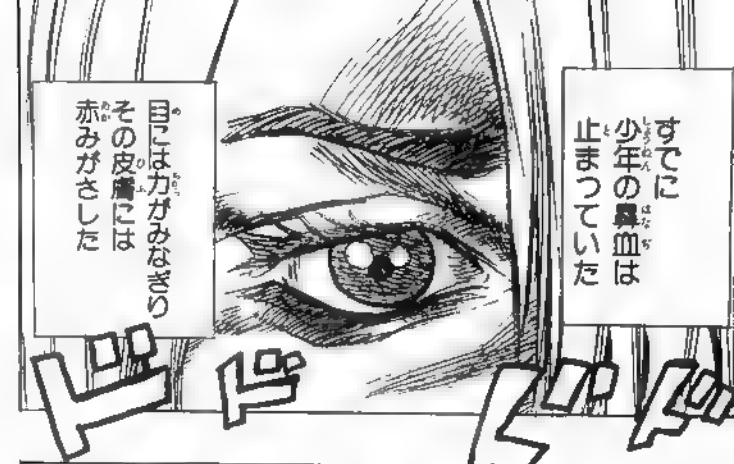
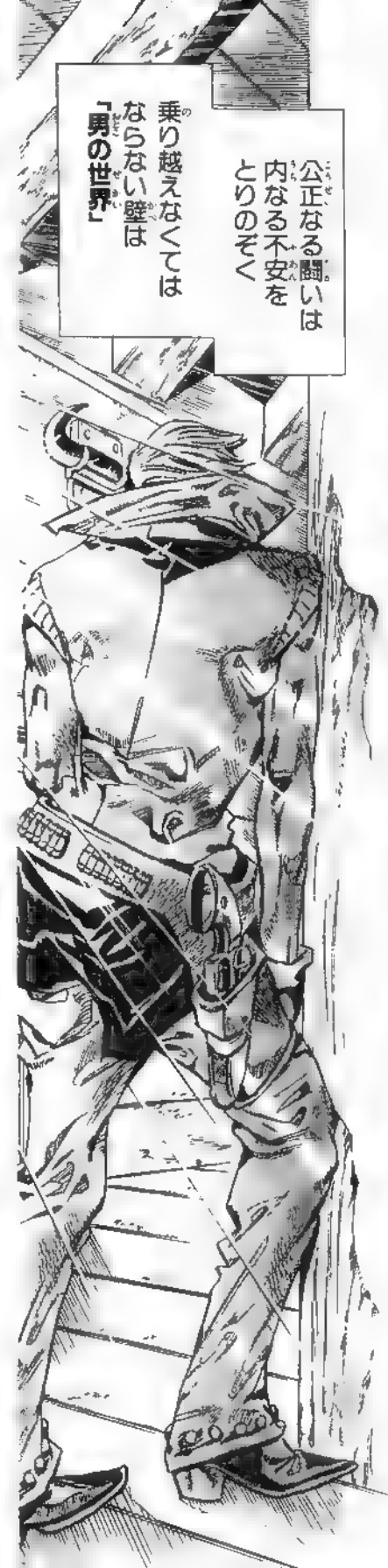
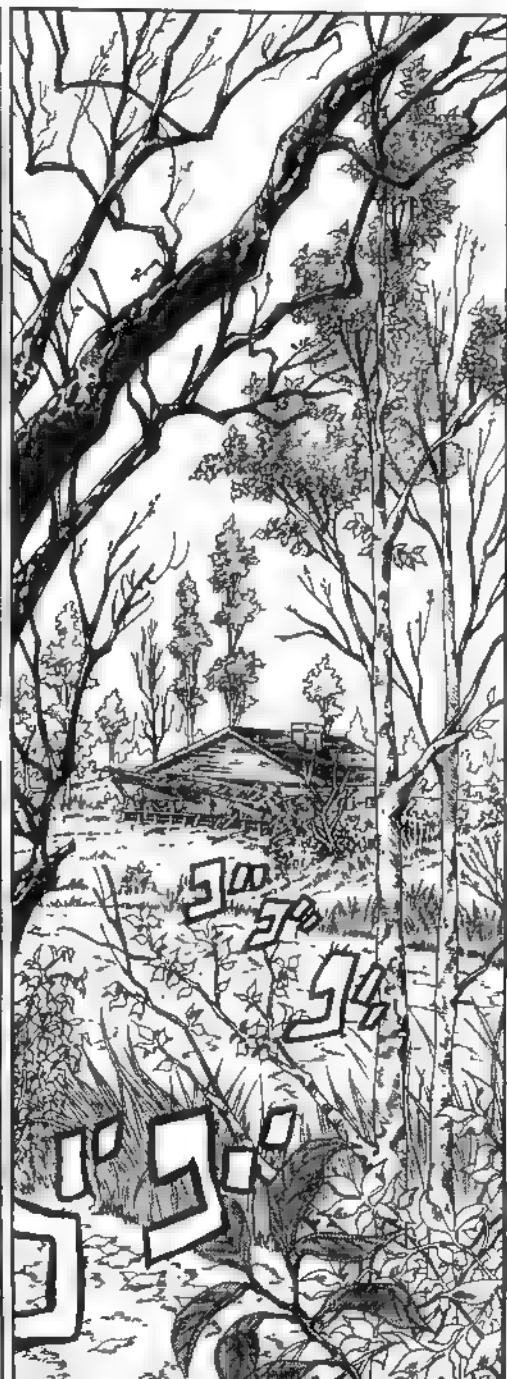
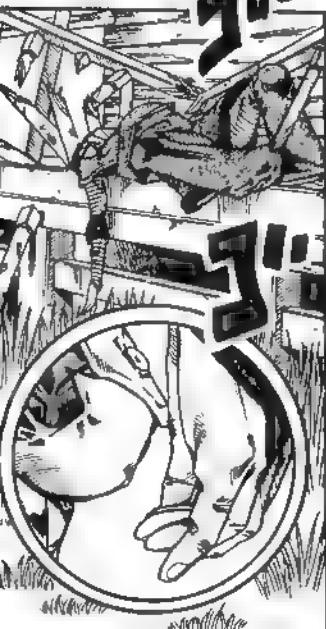
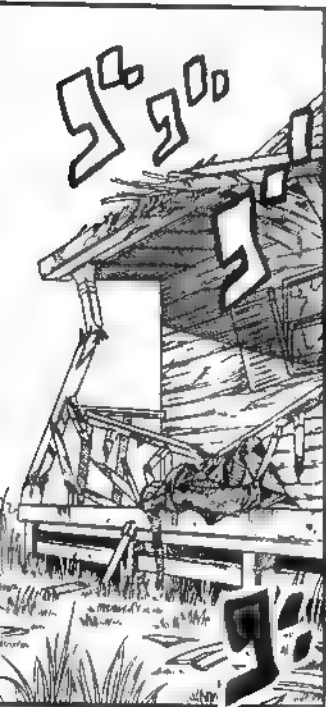
やさしくするから 下に おけって!

おまえをオレの 息子として育ててやるから ベッドの下におくんだ!

ゲホッ!!
ブッ!!

ドシュン
バァーン
ドッ
ドッ
ドドッ
ドッ
ドドッ
ドドッ
ドッ

ドゥオォ
オォ

ドドド
ドドドド
うわあああああああ──ッ!!

すでに
少年の鼻血は
止まっていた
目には力がみなぎり
その皮膚には
赤みがさした
ドドドド
彼には「光」が
見えていた
これから進むべき
「光輝く道」が
ドドド
鼻から吸い込む
空気は
今までにないほど
さわやかに
胸の中を満たした
以後 リンゴォ・ロードアゲインの
生きる上で
原因不明で出血したり
呼吸が出来なくなるという事は
2度となくなった
ドド
公正なる闘いは
内なる不安を
とりのぞく
乗り越えなくては
ならない壁は
「男の世界」
彼はそう信じた………
それ以外には
生きられぬ「道」
ゴゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴゴ

ゴゴ
ゴゴゴ

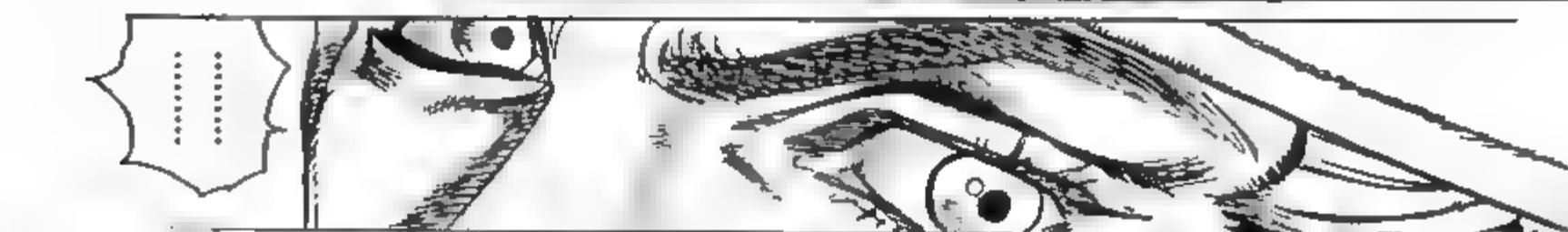
ゴゴゴゴ

ゴ ゴ ゴ ゴ

まさか息子よ…
あの小屋へ行こうとしているんじゃあないだろうな？
あのジョニィ・ジョースターを救いに…

……

ジャイロよ
小屋へ行ってはならぬ
行けば負けるぞ

父上
それはおまえ自身でそう感じてわかっているはずだ
自分ではヤツには勝てないと…
……
小屋へ「行く」動機はなんだ？
それは「感傷」だからだ…だから負ける
なんとしても「友」を救いたいという「感傷」
「感傷」はおまえの心のスキ間に入り込み動揺を生む
「感傷」は我々一族を／…そして先祖から受け継ぐ「鉄球」の技術を破滅に追いやるぞ

行ってはならない！
おまえには「勝利」なぞ！必要のない事だッ！
「鉄球」は国王のためのものッ！戦闘をする技術ではないのだ！
ドドド
黙ってこの場を去りこの果樹園を出て行け！
これは命令だ！おまえはツェペリ一族の長子！
しかも言ったはずだ！罪人が「少年」だろうと「無罪」だろうとそれにも「感情」をまじえてはならないッ！
すぐにこのレース自体も撤退するのだ！！
ド

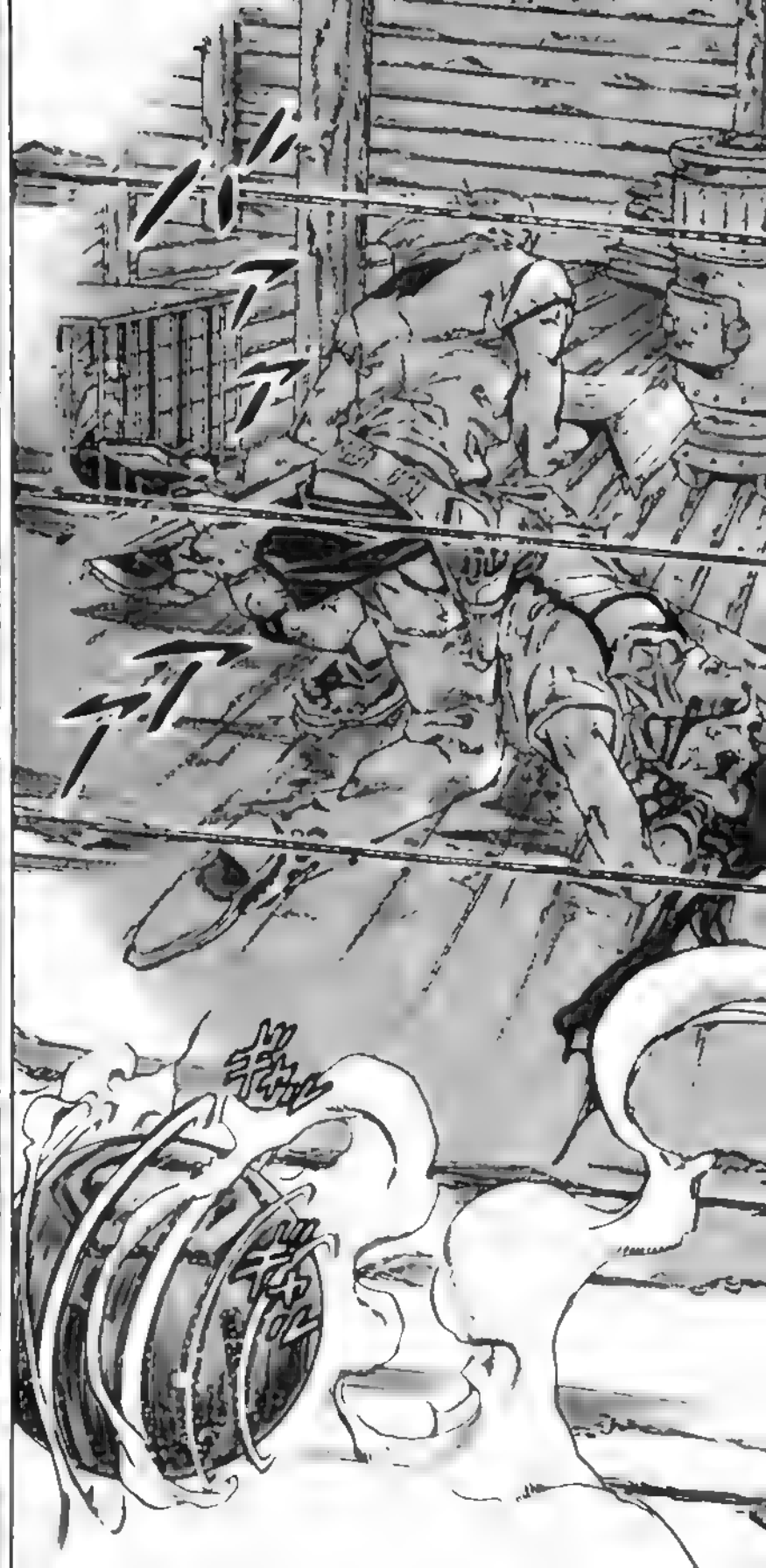
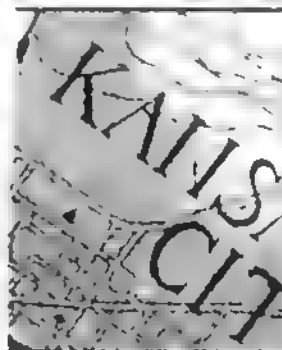
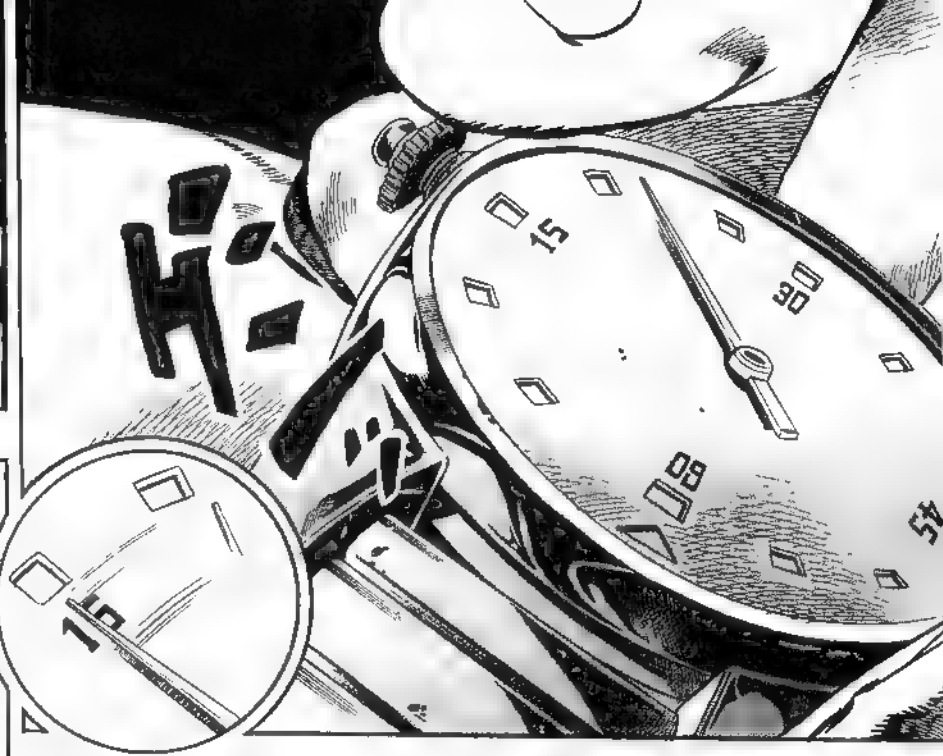
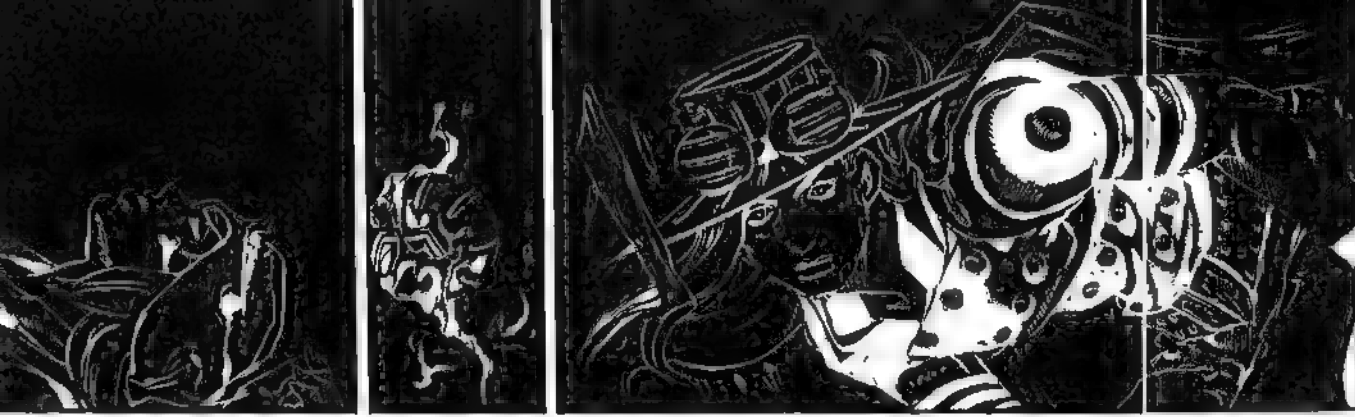
お言葉ながら父上
「感傷」ですと…!!
それは違います
オレは「納得」したいだけだ
マルコが本当に処刑されなくてはならないのか!?
ジョニィが見つけたがってる「遺体」とは何者なのか?
しかも あの野郎オレの事を「対応者」だと?
偉そうによォ──くだらねー事言いやがって……
ドドドド

ドド
「納得」は全てに優先するぜッ!!
でないとオレは「前」へ進めねえッ! 「どこ」へも! 「未来」への道も! 探す事は出来ねえッ!!
ドド
だから このスティール・ボール・ラン・レースに参加したッ!
見えたぞッ! 見えて来た! 父上!
ドドド
『勝利』の感覚が見えて来たッ!

ゴ
オラアアアアアッ!!!

間違いなく まだ 生きている… ジョニィ
そして持っていた 「地図」…… 「カンザス・シティ」！
次の「遺体」の 場所がヤツに バレた――!!
だが リンゴォ・ロードアゲイン
ここから先は おまえもオレも 後には 引けなくなる
いわば 詰め将棋に 追い込まれる
「一手」ミスった方が 負ける… オレやおまえが どう決定しようと もな！
どう あがこう ともだッ！

オラアアアアアッア!!

……
……
まだいたのか…
おまえの行為などもう何事でもない
既に言った筈だ

時を「6秒」
戻せると……
くり返し何遍
だろうとな……!!
オレの「雇い主」は
おまえをついでに
始末しろとおっしゃるだろうが
オレにとっては
その価値は何もない
この果樹園を
出してやるから
ひとりでここを
出て行け!
勝手に
レースに戻るが
いい……
何かよォー 気のせいか
ずいぶんと上から見下されてる
感じがすんだがなああ——
おまえさん…
その腕時計を
動かして
「時」を6秒戻す
とか言ったが
今 鉄球を
投球したのは
おまえさんの体内を
調べるためだ
ザッ
ザッ
……

「公正」に言ってやるぜ
鉄球の「スキャン」は今、おまえの大腿骨の位置に古傷があるのを見つけた
オレの次の投球はその「古傷」を狙う!
その古傷への衝撃は……
……
おまえさんの「左半身」を確実に麻痺させるだろう
右手首の「腕時計」のつまみなんて その指で動かせねえぜ

「左腕」はおろか「左脚」…「左眼」さえも落ちる…
しゃべる事も出来ない
やろうと思っても「8秒」なんてやり戻しはもうきかねえんだ…!
……
そして その麻痺は同時におまえの左胸にある「心臓」をも停止させる
バギャア

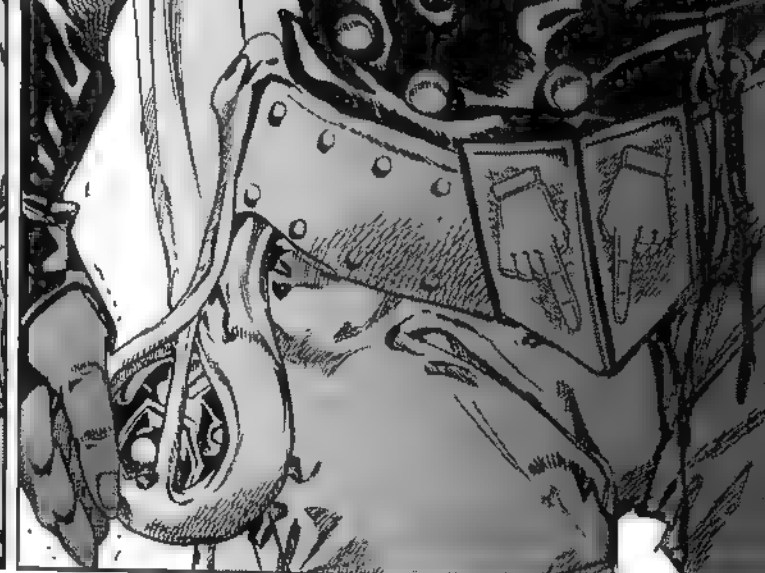
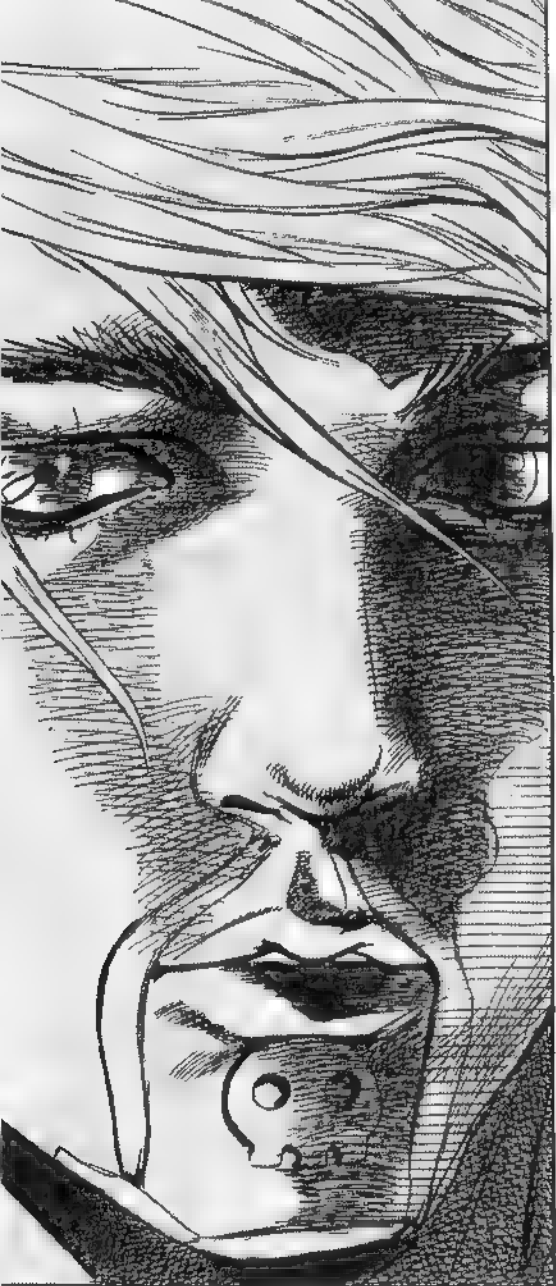
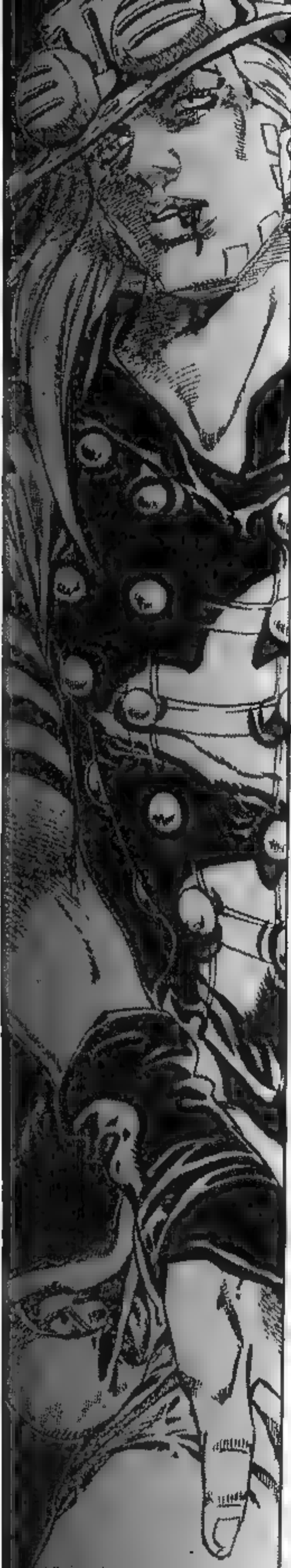
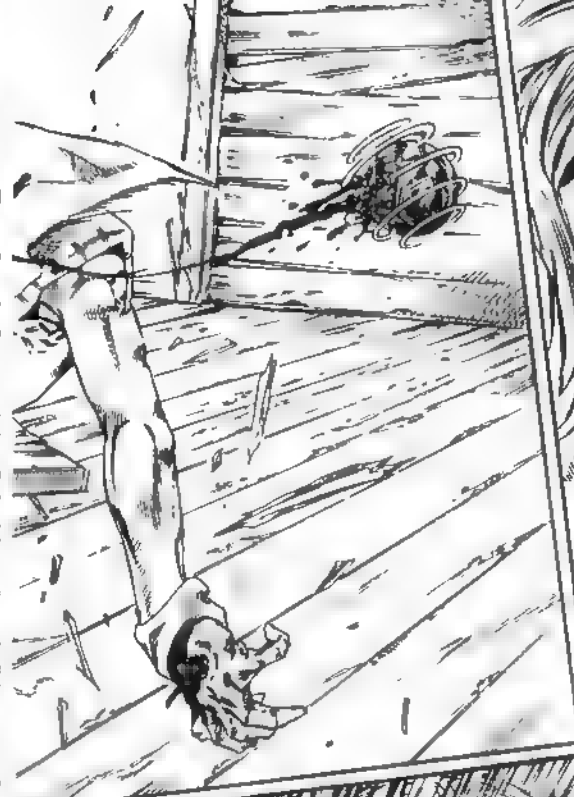
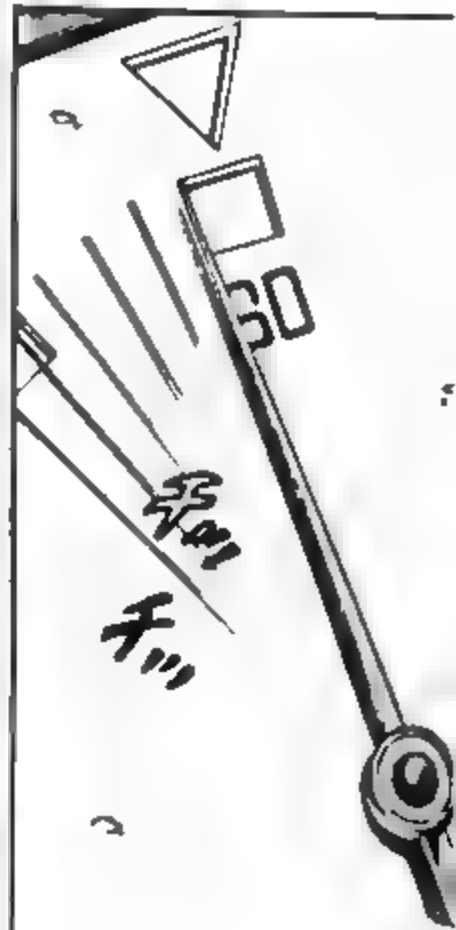
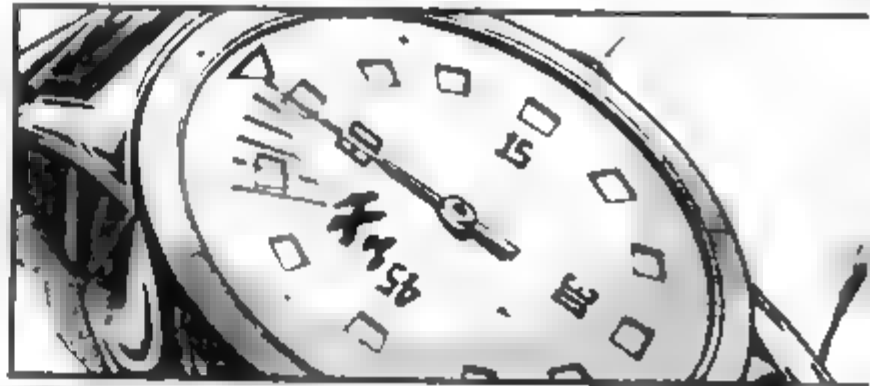
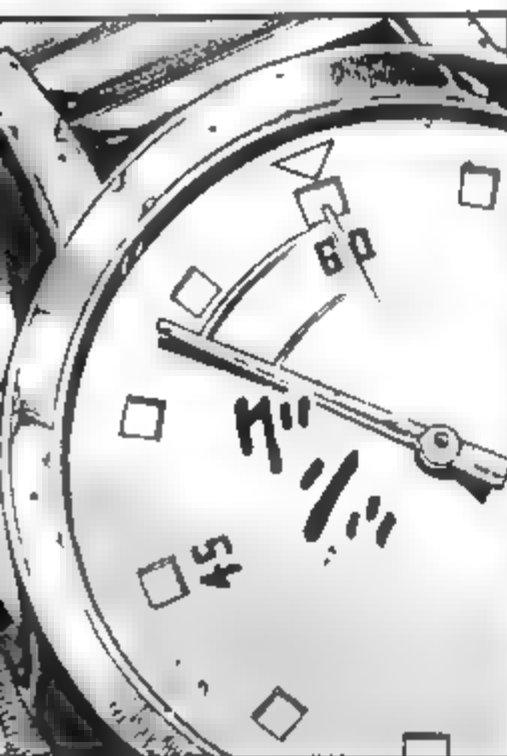
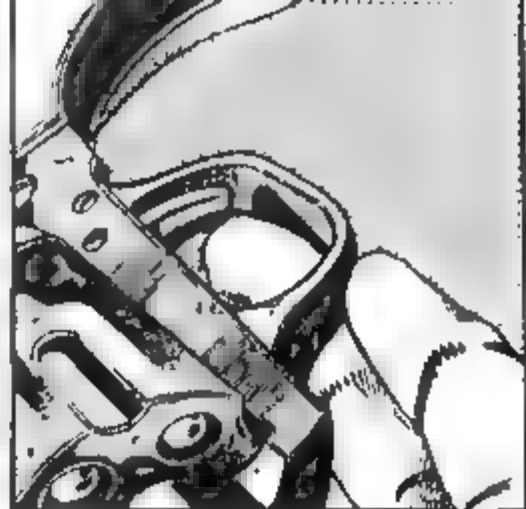
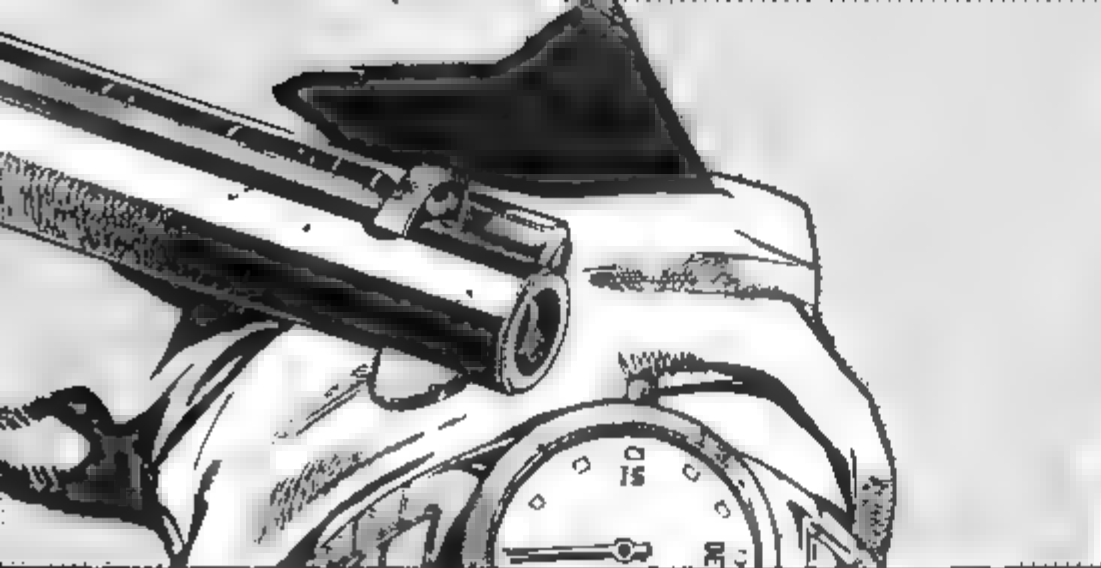
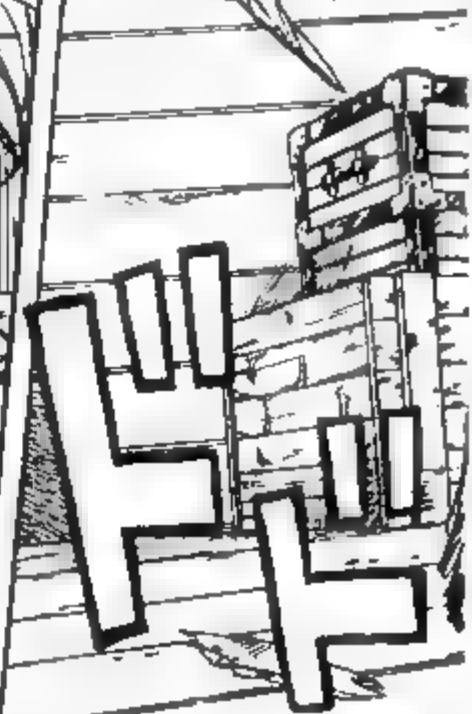
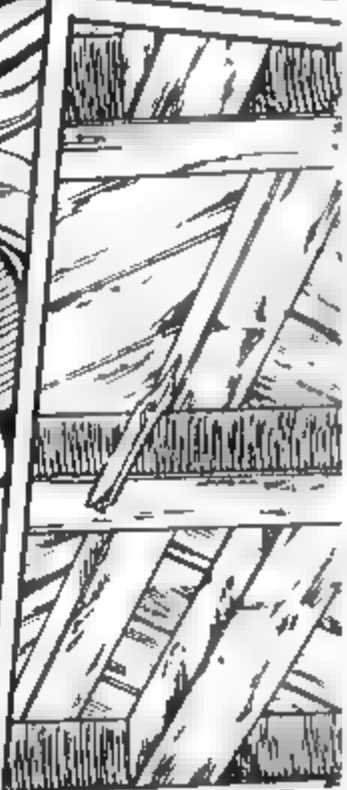
ゴゴゴゴゴ
そして この距離なら よォオオ――
……
もう お互い 絶対にはずしっこ ねえぜ

どうする？
もう後には
引けなく
なったな
おまえや
オレがどう決めようとな
ドドドドドド

ドゴォォォォ

「心臓」が…「左腕」がッ…
こ…こいつ!!

ガフッ
うぶっ！「左腕」……うぐっ!!
チッ
チン
ガフ
うおおうう
うううッ
「相討ち」…かっ…!
〈……シャイロ・ツェペリ!!
「6秒」…過ぎる……〉

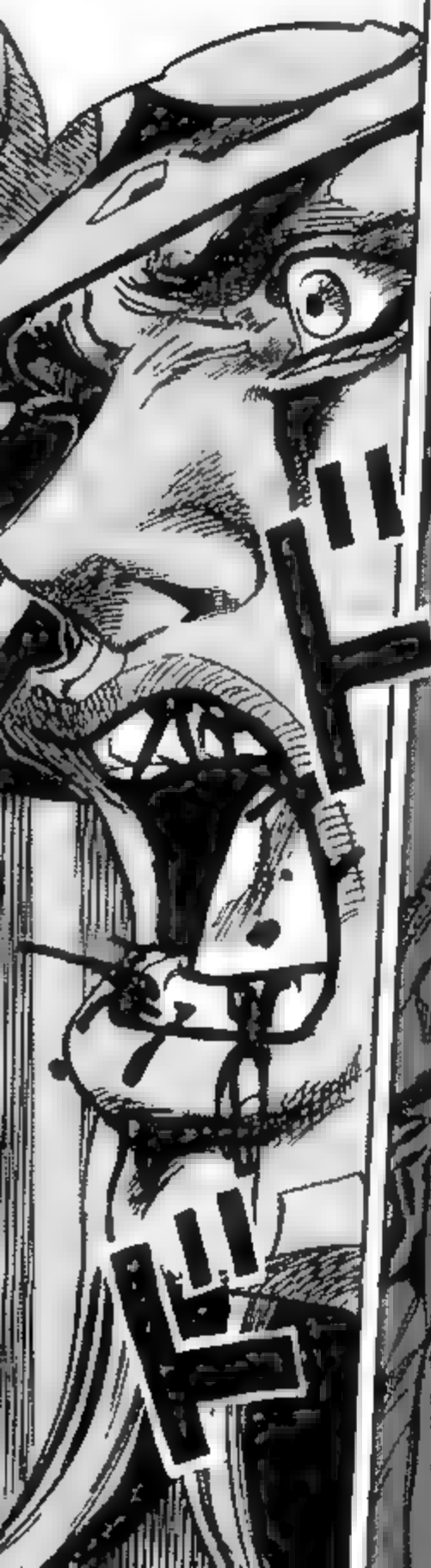
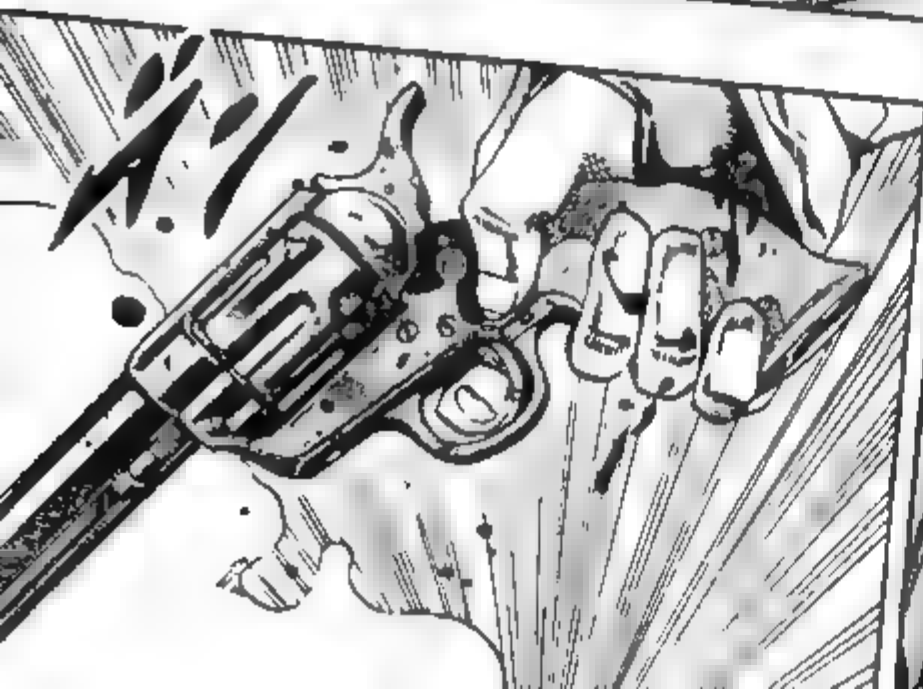
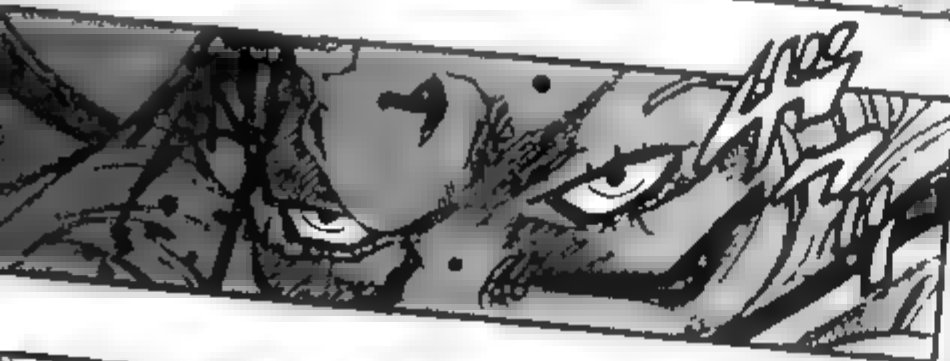
やはりよオォォ
戻したな……
「6秒」！……
で…どうする？「再び」か？
ドドドド

再びかアア——ッ!!
おもしろいぞ
ジャイロ・ツェペリ
少しいい「眼光」になったッ!!
だが所詮 まだ おまえは「対応者」に過ぎない!
ドドドドドド
決めるのは おまえじゃあねえ————ッ
お互い後には引けねえッ!!
ドドドドドド

バッ

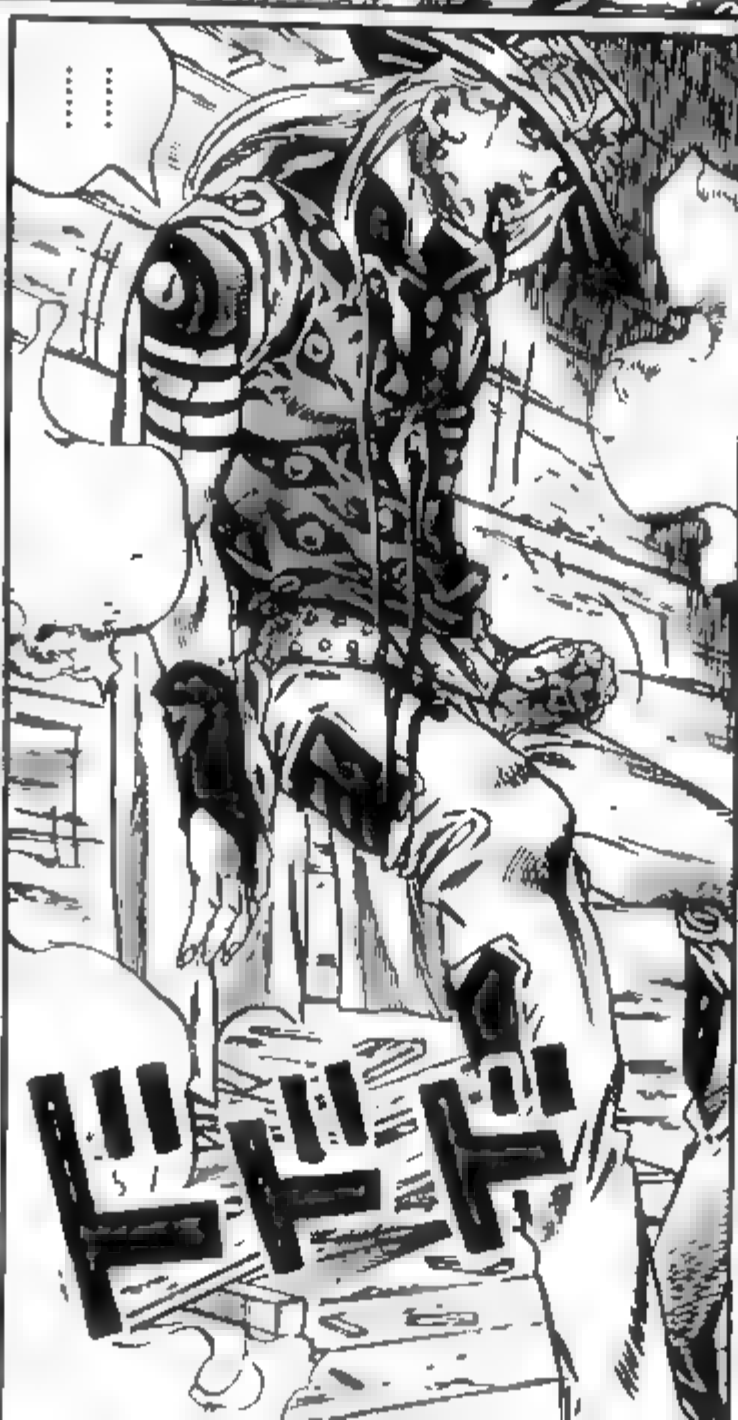
ドバ

グラッ

2発目(はつめ)だッ!
これで勝利(しょうり)ッ!!

ガブウウッ!!
……
ボト
ボト

ザグッ!!
木の破片…
こ…これは…
……
「左腕」で
リンゴォ…ロードアゲイン
その「左腕」で…
「鎖骨」を防御したな……
オレを「次の2発目」でとどめを刺そうと……

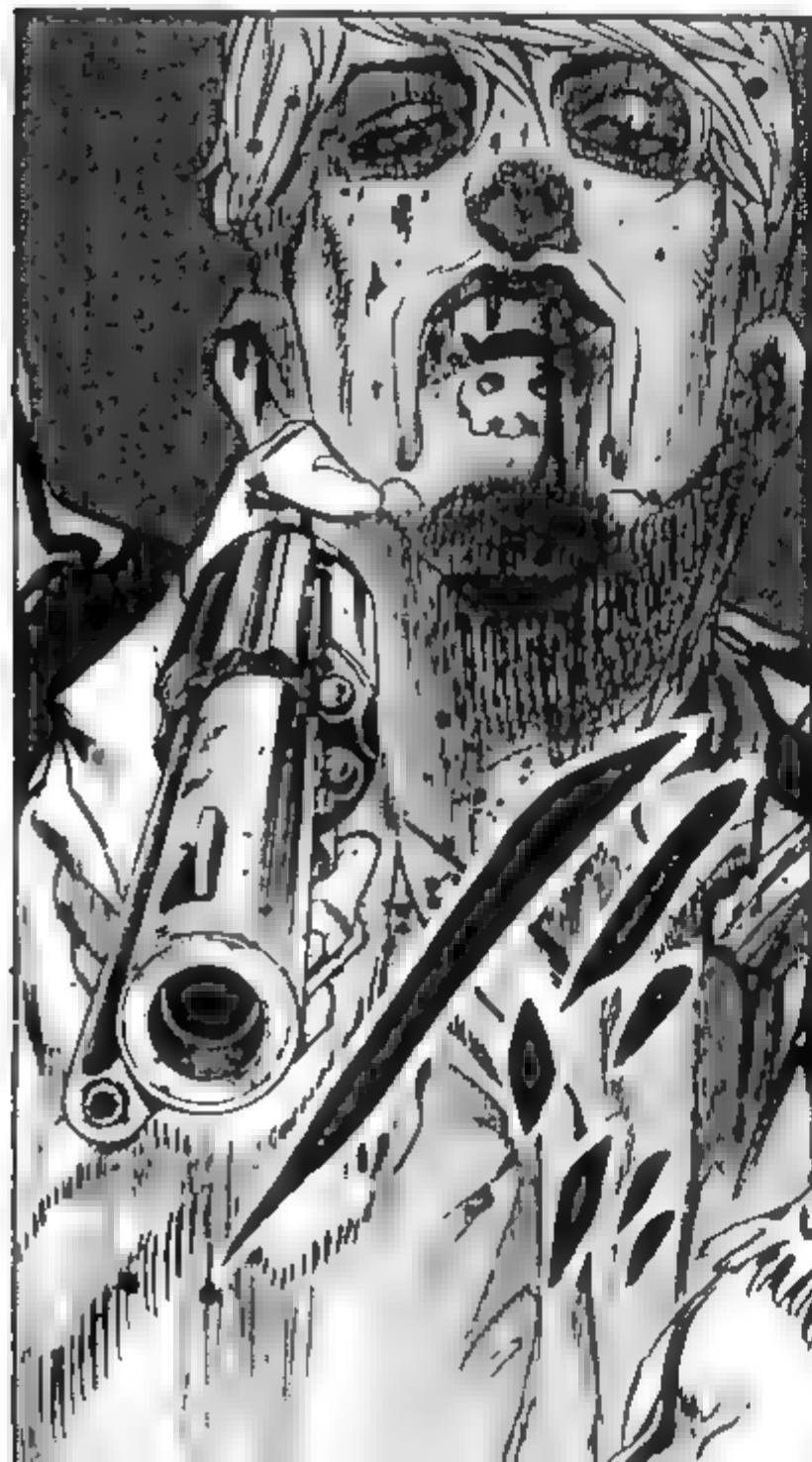
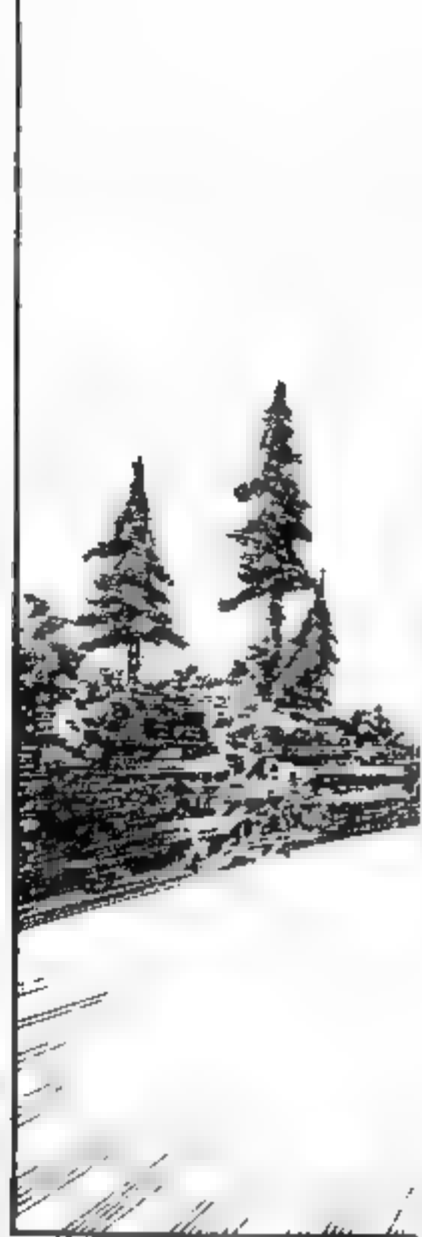
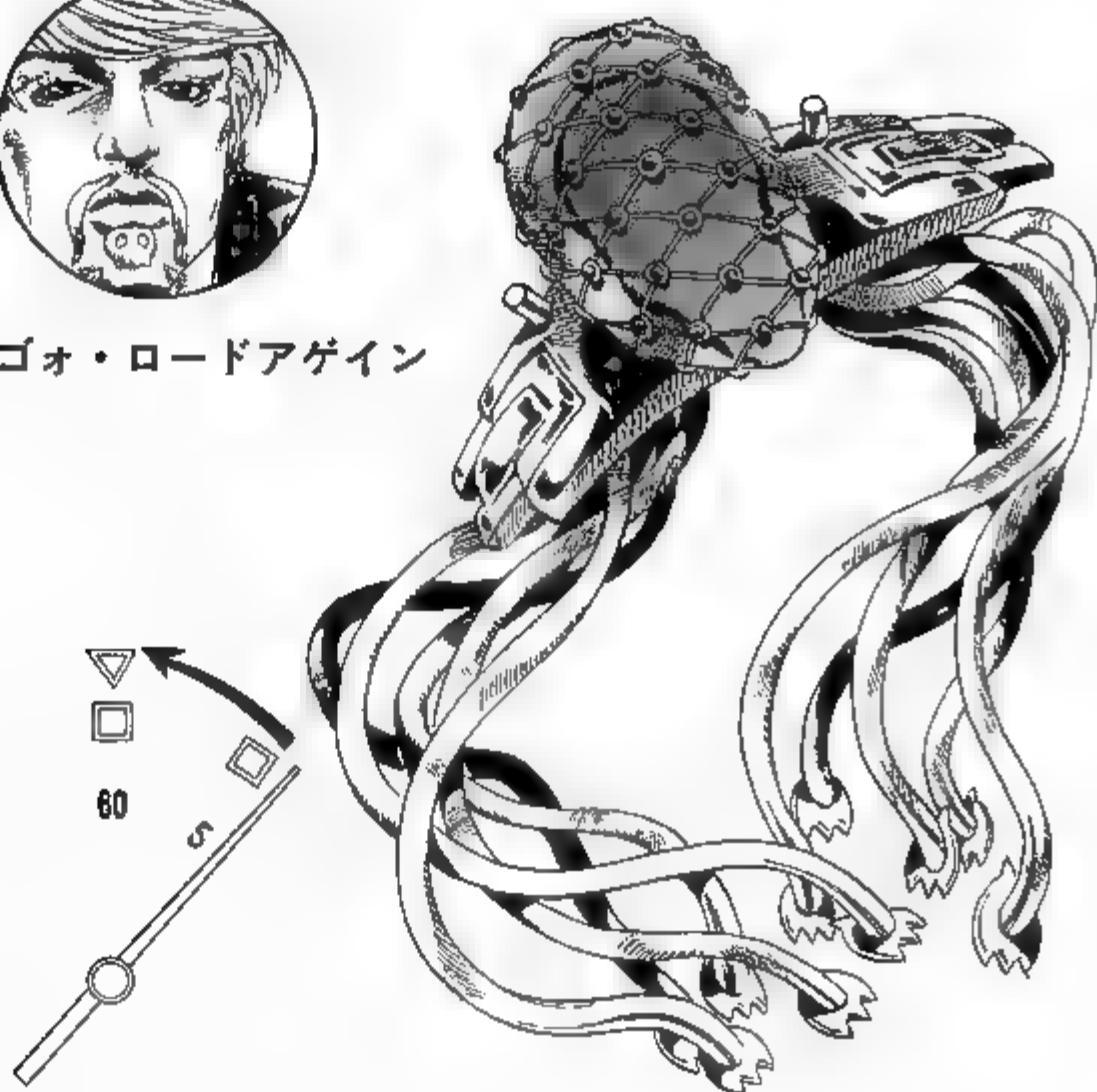
その「防御」の為の動きのせいで……
「急所」には命中せずわずかにそれて肩に着弾した！
決着は……次の「弾丸」の為に……
ドサァアアア

ババ
ドドドド
「木の破片」
空中に飛び散っていた「木の破片」を
「最初の6秒」前の時に覚えていて それを「鉄球」で打ち込んで来たのか……
…………
ジャイロ・ツェペリ
見事だ……
「一手」
オレはしくじったってわけか…
ドドド
ドドドド

腕で「防御」しなければ正確に間違いなくオレの急所を貫いていたろう…
あんたなら
やめろよ
あんたに「次の」「2発目」はもうないその「銃」を床に置くんだ
妙な事はやめろ……
ドドドドド
それじゃあまた…相討ちになってしまう…また「6秒」戻して
繰り返して永遠に決着はつかないな
もっともその「6秒」は…既に過ぎてしまったようだが
既にオレは納得した…もうあんたを仕とめる意味はない！
だから対応者だと言うのだ！「光の道」を見ろ……
進むべき「輝ける道」を……

「社会的な価値観」がある そして「男の価値観」がある
昔は一致していたが その「2つ」は 現代では必ずしも 一致はしてない
「男」と「社会」は かなりズレた価値観に なっている…… だが「真の勝利への道」には「男の価値観」が必要だ… おまえにも それがもう 見える筈だ…
…… レースを進んで それを確認しろ 「光輝く道」を…
オレはそれを 祈っているぞ
そして 感謝する

オォオオォ

ようこそ…………
「男の世界」へ…………

はまだ あるようだな……
ソロニィ……
どうやら お互いな……

スタンド名―『マンダム』

時を6秒だけ巻き戻せる。
リンゴォ・ロードアゲインの腕時計の針は
その精神的なスイッチにすぎない。

STEEL
BALL
RUN
#36 緑色の墓標
その①

4th. STAGE 第20日目
ゴール『カンザス・シティ』まで 丸1日の地点
(本日夕暮れまで　あと2時間)
データ　STAGE走行距離 約1250km
レース参加者総数　1918人
現時点ステージリタイア者数 825人
総合第1位　ディエゴ ブランドー
(190ポイント)
カンザス・シティ
ミシシッピー川
4th
3rd
2nd.
1st.

う…
うう
…

おい 頭大丈夫そうか？
今よォ…オレ ギャグ考えたぜ
オリジナルギャグだ 考えたんだ
……
でもいいか… たった一度しか やらねーからな よく見てろ
一度っきりだ… 指見てろよ 今指何本に見える？
……
4本

お嬢ちゃん
そこちょっと
失礼イイイイ

ジョニィ
…

それですぐ出発だ！
ホット・パンツの傷も
スプレーしといた
ヤツが気付く前にな
………!!

でも恐ろしい
敵だった

これから先も
出会うのは
こんなヤツばかり
なのかな……

おそらく…
凍りつくほどな

…かといって
レースを
降りるワケにも
いかなく
なったな…

そんな気はサラサラ
ないだろうが…

仮にレースを投げ出したとしても
おまえは一生涯 この国の政府から
どこまでも追われるだろう

言うとおり…
レースを
降りる気なんて
サラサラないよ
むしろ
勇気がわいて
来てる
ああ…
どういうわけだかな…
オレもだ…
カンザス・シティに入ろう
それも一番乗りでな
それと「遺体」の正体だ…
「聖人」は何者なのか？
ヴァチカンから情報を
もらわなくてはならない
おっ
こいつ!!
荷物ん中に いっぱい
あるじゃあねーの！
ローストビーフ
サンドイッチは
残らずもらって行こう
全部
食っちまえば
よォ――
そいつに「縛り首」に
される証拠も
消えちゃうって事
だからよォ――
それとも そいつが
もっとムカつくよーに
肉だけ食って
パンだけ残しといて
やるーかッ！
ニヨッ
ホッホッホ
！
本当に
生きてるん
だろうな
まるで
……

は！
……………

ゴゴゴゴ
ゴ ゴ ゴ
なんだ これは…!?
ホット・パンツ…
…まさか!!
う…
急げ！ジョニィ
レースのP数は
その
クリーム野郎の
方が上位だ！
ガガッ
驚いた…
でも どうでも
いい事か……
「彼」…いや
ホット・パンツが何者だろうと…
…ぼくらには何の関係もない…

手でこうだ

なにそれ？

「読唇術」だよ

上空から「会話」を読まれるな！

軍隊で訓練されるもんなんだ
ぜんぜん特殊な技術じゃあない
…その係員が機乗している
…まちがいなく「スティール」も政府の手先だろうからな！

おっ！見ろ！
ポコロコが来た！
サンドマンもいるぞ オレらけっこう先の方に来てるな

あい変わらず マッスルが イカしてるぜ!! ケチらねーで 教えろよ!
ぼくらは今 どんな状況か 知りたい

……

君らのライバルは Dioだけなのか?
まぁいい だろう…
早朝にDioの 足跡を見た
我々より一時間ほど 先行している 予想通りトップは彼だが 河の少ないルートを 通って行った

一時間!

残りあと一日 まだ追いつけない 距離ではないぞ
ガサ
ガサ

それと もうひとつ
明日は「嵐」が来る
ゴール前の レース進行は 困難になる だろう

1st STAGEの時

オレは
君のかわりに
勝利をゆずり
受けた

だから
それを教える…
これで貸し借りは
なしだ

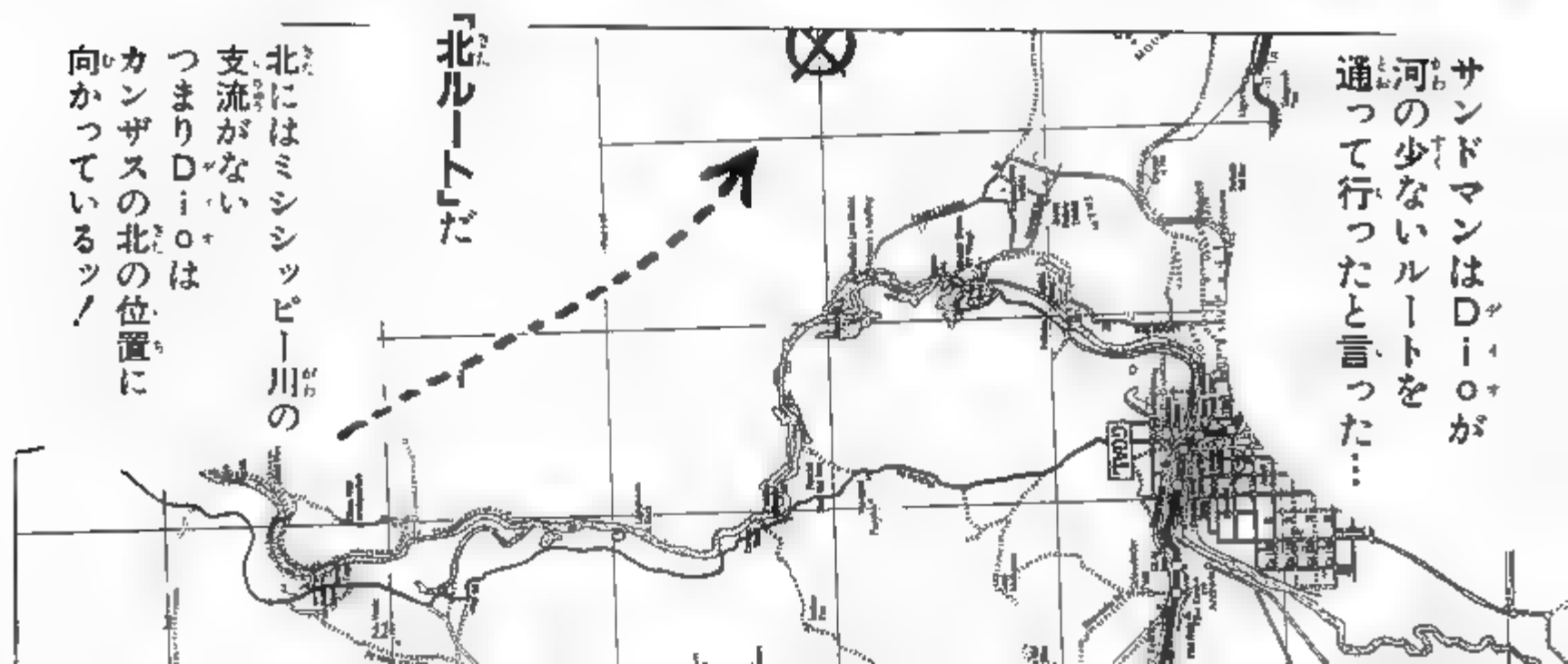
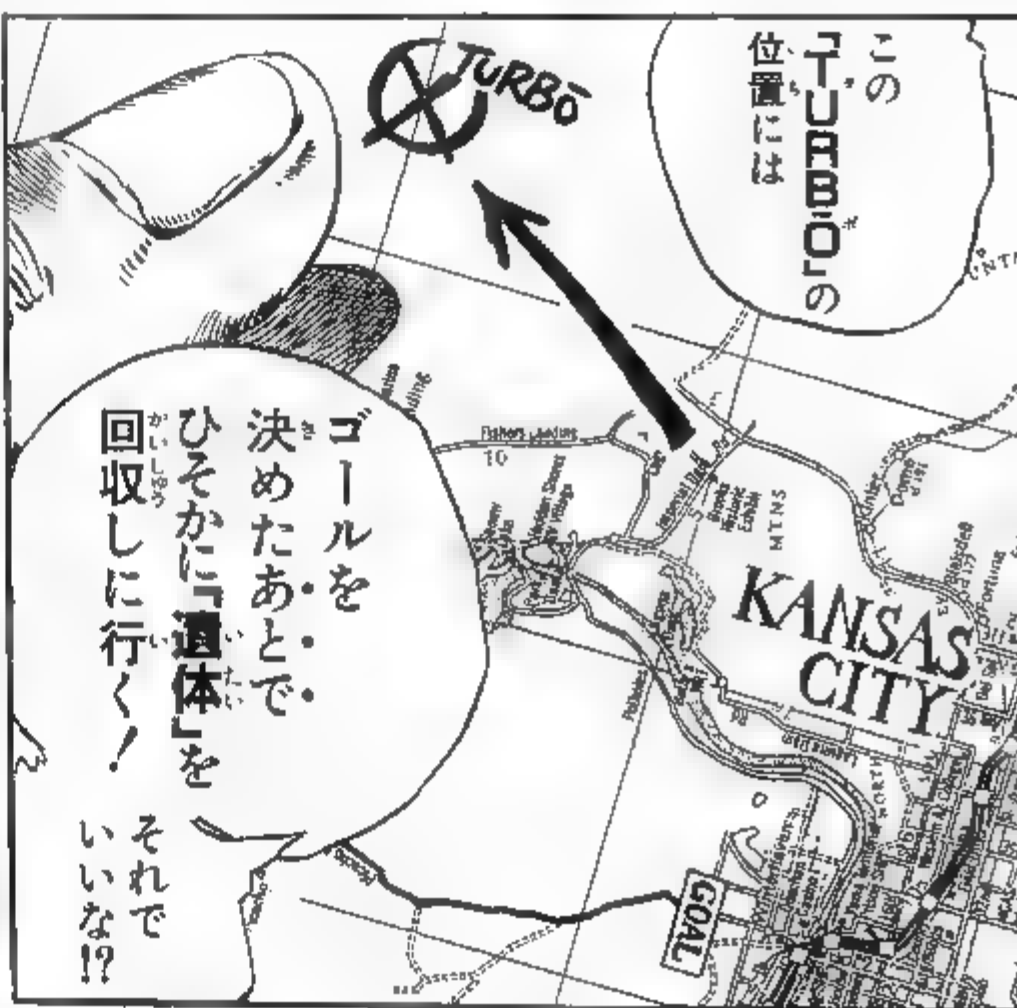
こんな青空だが
サンドマンは
信用できるぜ

Dioは
先行一時間か!

そして ただの
雨じゃあなくて
「嵐」が来るだと?

だとすると明日は
馬での走行は
限りなく不可能に
なる

ジョニィ
予定が
変わってくるぞ

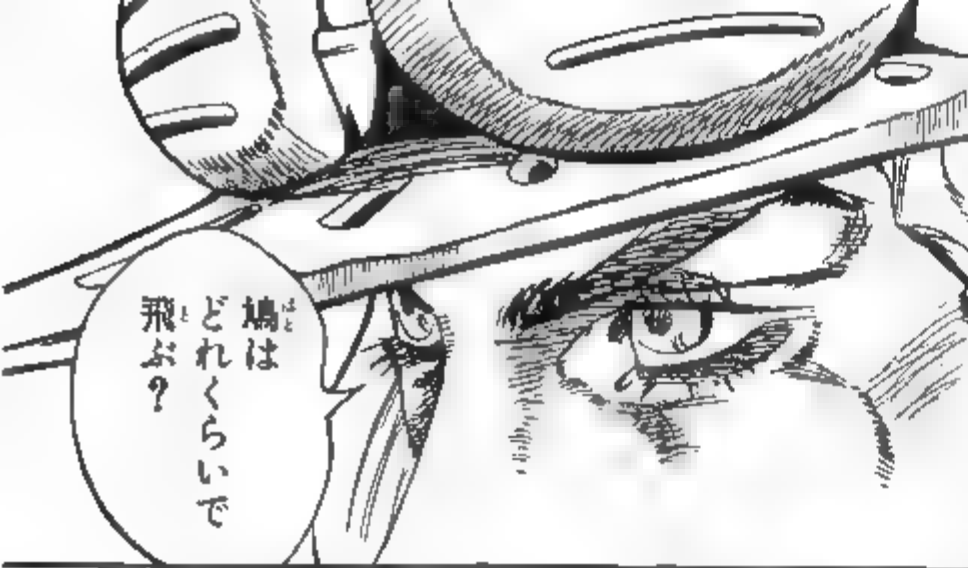
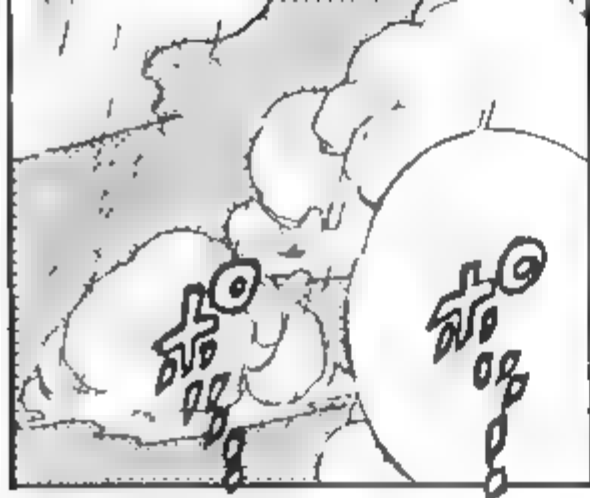
もうすぐ夕暮れだが今日のうちに馬を進めるだけ進めよう
TURBŌ
明日「嵐」になるならその方が馬にとって有利だ
そして適当な場所で「嵐」が弱まるのを待ちゴールへ突入する！
GOAL
この「TURBŌ」の位置には
TURBŌ
ゴールを決めたあとでひそかに「遺体」を回収しに行く！
それでいいな!?
KANSAS CITY
GOAL
TURBŌ
いや…だめだ……
ジャイロ
それじゃあだめだ…
サンドマンはDioが河の少ないルートを通って行ったと言った…
「北ルート」だ
北にはミシシッピー川の支流がないつまりDioはカンザスの北の位置に向かっているッ！
GOAL

・・・向かっているんだッ！
Dioはヤツの「左眼」からTURBOの位置をつかんでいるッ！
あいつはゴールより先に『遺体』を回収する気だッ！
ゴゴゴゴ

TURBO
……
……
そして
なんて事だ!
……
今思い出した
……
あのリンゴォの
小屋の中には
鳥籠があった
!
あの小屋には
中が空っぽの鳥籠が
あったんだッ!
何か
おかしいと
思ったんだ!
……知ってる……
だが何が
言いたいんだ?
中に「鳥」が
いればいいさッ!
でも気づかなかった!
「空っぽ」だったんだ
ぞッ!
鳥籠の中には羽も
鳥がいなかったッ!

つまり政府にバレたって事か？
リンゴォはオレが小屋に突入する前にTURBOの情報を「鳩」につけて飛ばし終わっていた
ヤツならありうるな

鳩はどれくらいで飛ぶ？

どこへ飛ばしたかは知らないが
馬よりはずっと早いさ！
ずっと！

ジャイロ
ぼくは「嵐の中」を行く…！
すでにもう遅いかもしれない
でも…「ゴール」より先に行かなくては…
……

この気球どもについて…2～3質問があるんだが
風上へ進めたりできるのか？
いいえ…気流に乗って方向を多少変えるのみです
滞空時間はどれくらいだ？
基本的にバルーンからガスが抜けなければずっとです…しかし現実には上下移動にガスを噴射し夕暮れまでには降りて来ます

じゃあ 最後に聞くが

そんな数 飛ばしてるのに「気球からの「報告」がジャイロ・ツェペリとジョニィ・ジョースターを見失いました……と

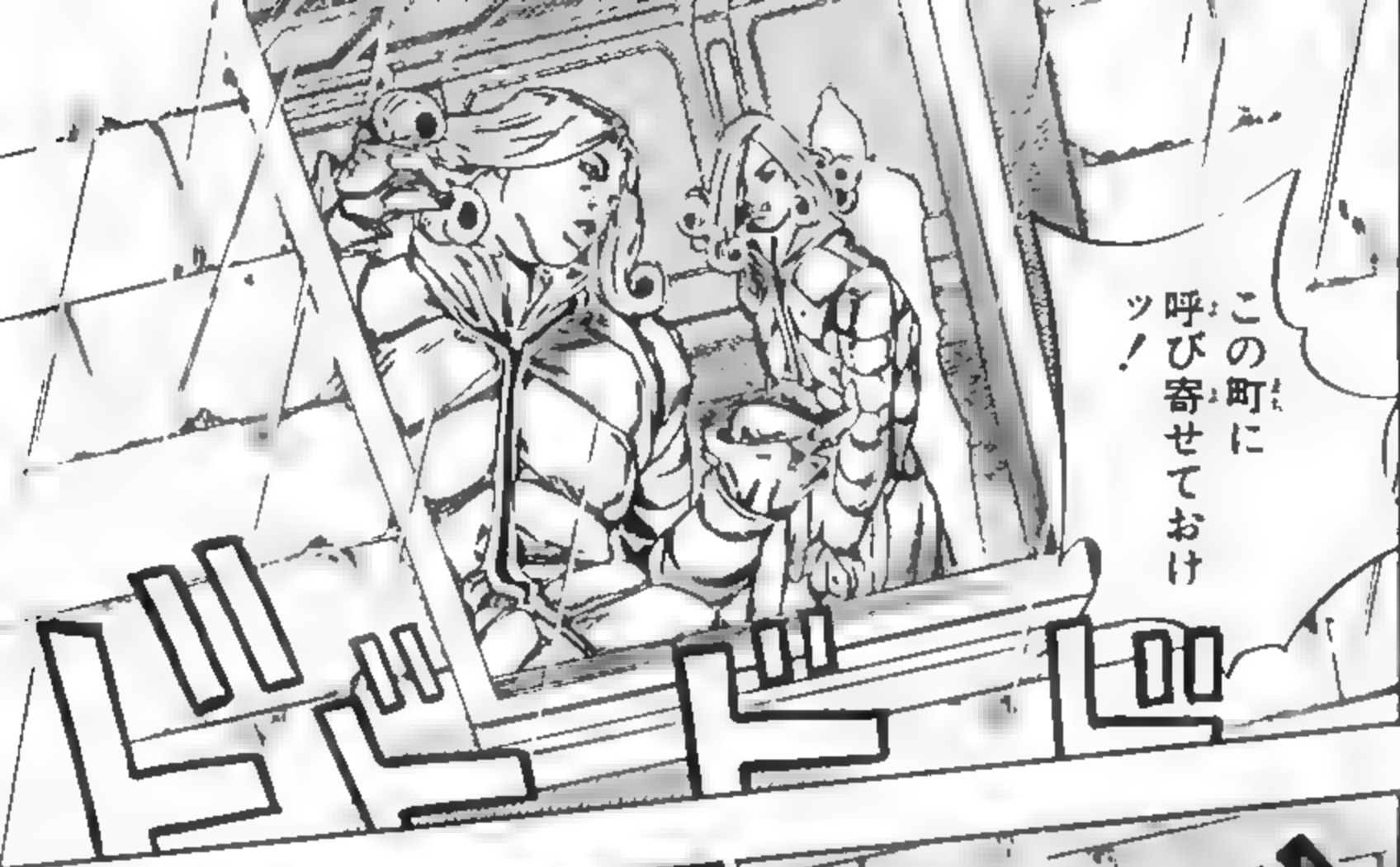
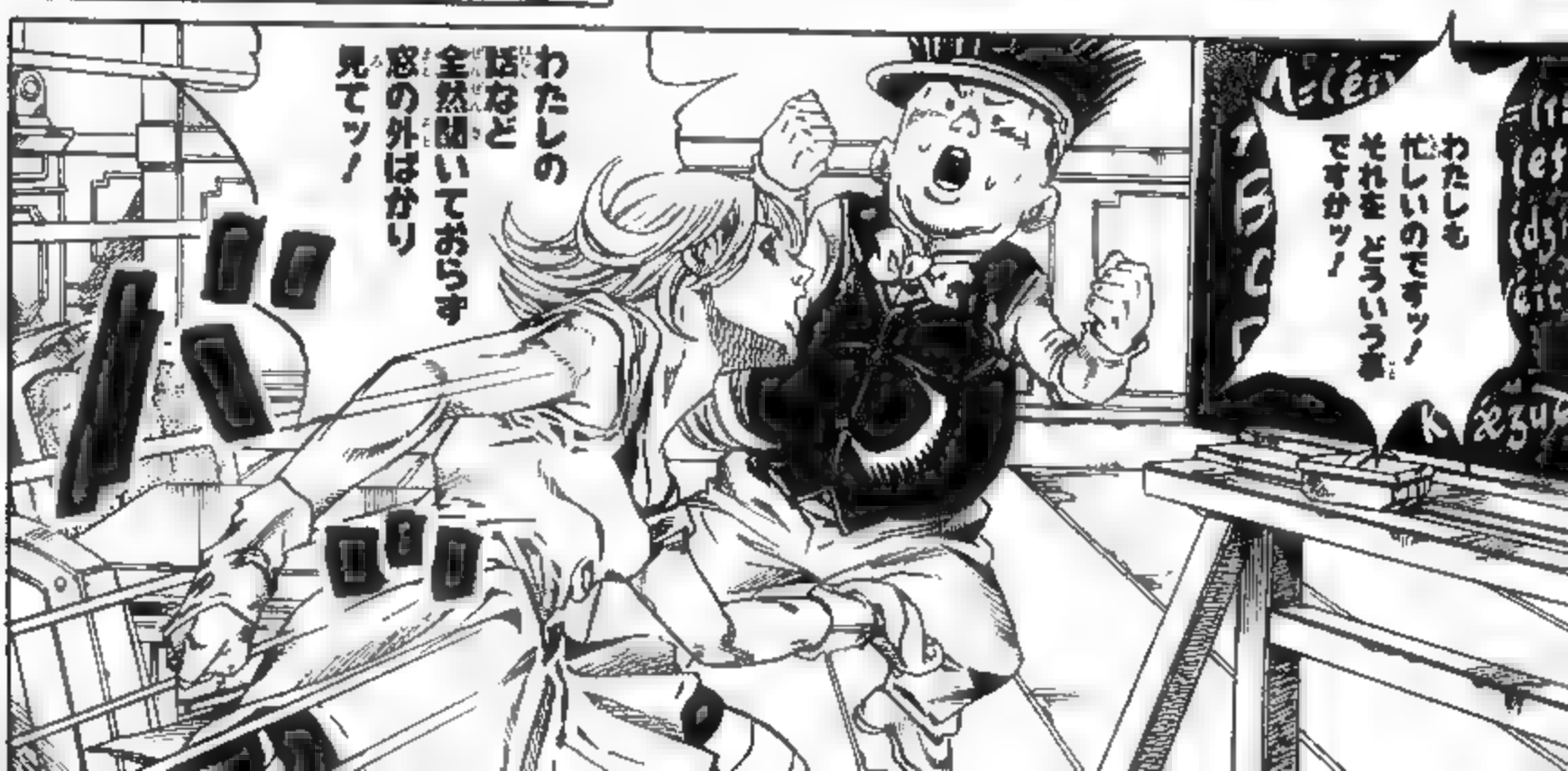
いつもなのは なぜだと思う？

しかも 果樹園でリンゴォが 放ったらしい鳩も まだ 見つけていないのも なぜだ？

リンゴォが飛ばした鳩はともかく
上空から常に2人だけ追跡するのは不可能かと思われます
かもしれない
わたしはとるにたらない話をしている
だが多少敏感な方でもある
個人的な推測だが「スティール」のやつがこれに関して非協力的だからだと思う
やつが我々の邪魔をしてるからでは？ レースの気球はヤツの所有だからな……
あのプロモーターが裏切っていると？
考えられません 仮にそうだとしたらスティールは全てを失います 動機がありません
そう
普通プロモーターどもは金と権力を欲しがる
だがヤツは何か妙だ…
情熱というか…少年じみてるというかくだらない理想主義というか
とくにモニュメント・バレー以来な

いまは
そうでなくても
いずれ我々を
『裏切り』そうな
気がする
どっちかな
……
どうするかな
……
このレースに
あいつは別に
いなくても
いいような気も
するし
でも もう少し
利用できそうな
価値もあるし…
ゴゴゴゴゴ
スティーブン・スティールには
カリスマ性があります
マスコミや労働者
ボランティア…
彼について来てる者は
多い…
彼が消えたら
レースは混乱するでしょう…
うむ…
そうだな…
とりあえず
今はやめておこう
ただし
利用価値がいずれ
なくなったら
ご退場願おう
我々は
このカンザスの
どこかにある
次の『遺体』を必ず
見つけねばならない！
ゴゴゴ
ドドド

アリマタヤの
あの方の
「脊椎の部分」が
ここにあるッ!!
次の「遺体」は
「脊椎」だッ!
ド
ドドド
手に入れるよう
「スタンド使い」

この町に呼び寄せておけッ！

奥さま
スティール夫人…
奥さま
わたしの話を聞いてらっしゃるのですかッ！スティール夫人！
はッ！
2〜3日後にはレース参加者たちが一斉にこの町のゴールに入って来ます！
わたしは その仕事が山のようにあるというのにッ！奥さまがぜひ教えてほしいとおっしゃるから家庭教師をお引き受けしたのにッ！
わたしも忙しいのですッ！それを どういう事ですかッ！
わたしの話など全然聞いておらず窓の外ばかり見てッ！

バッ

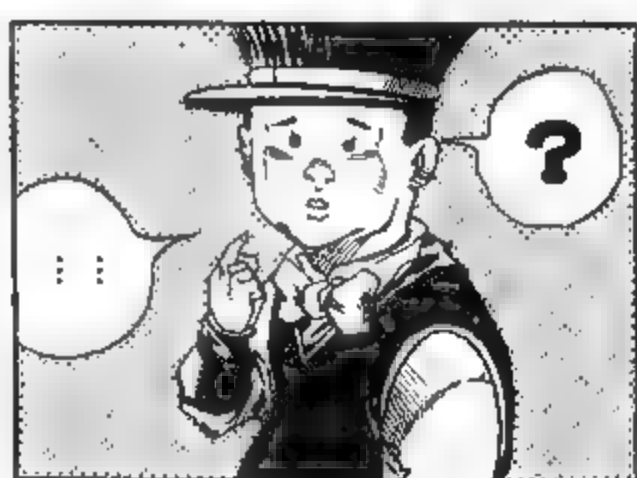
あたしが あなたから「読唇術」を習ってるって
誰かにしゃべった?

?
…

……
はい
もちろん…お約束ですから…

口外してないわね?
誰にもッ!?しゃべってないわね?

そう…
……
この習い事はもうやめるわ
〃超理解不能
あたしにはさっぱりわからないから!
眠っちゃいそう
才能ゼロ

あきっぽい性格って彼に怒られそう！
はい お給料
もう帰ってくれない…
……
バタム
……う
ううう……
うう ううぐ

ルーシー……
わたしは
おまえがそばにいてくれて
そして
ほんのささやかな暮らしが
出来れば満足なんだ
他には
何も必要ない……
ただ
新聞に名前が載るのは
ちょっとうれしいかな……
新聞なんて 明日には
捨てられてしまうんだが……
下のスミの方で
いいんだ……
すっごく小さな文字で……
それだけで
いいんだ……
たったそれだけで……
そのために このレースに
全力を尽くそう……
Produced
by
STEPHEN STEEL

殺される……
夫は やはりただ利用されていただけ…
必要なくなったら…
あいつらに口封じされてしまう

バサッ
バサ
バサ
……
リンゴォが放ったらしい鳩がまだ見つかってないのはなぜだ？
……!!

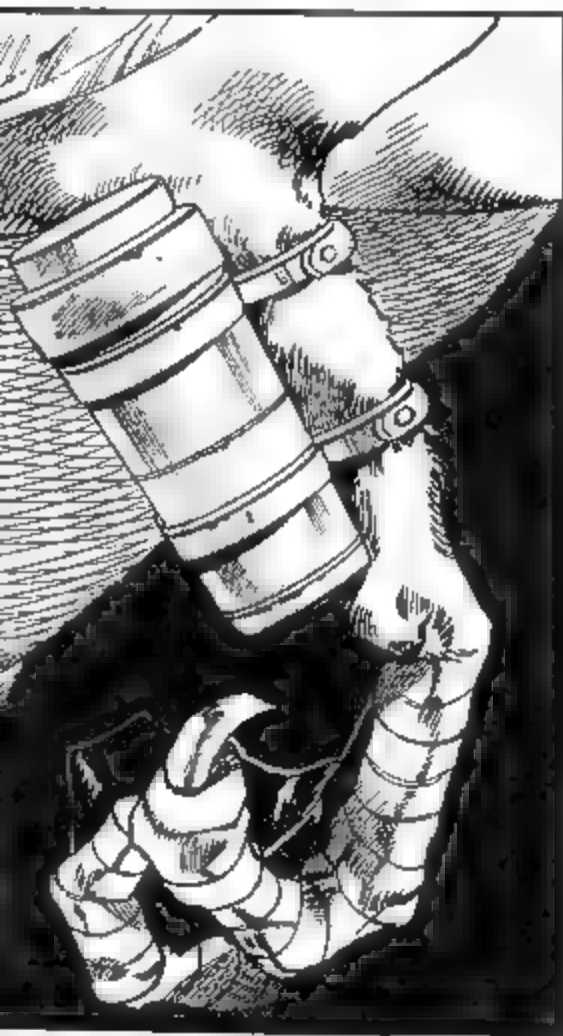
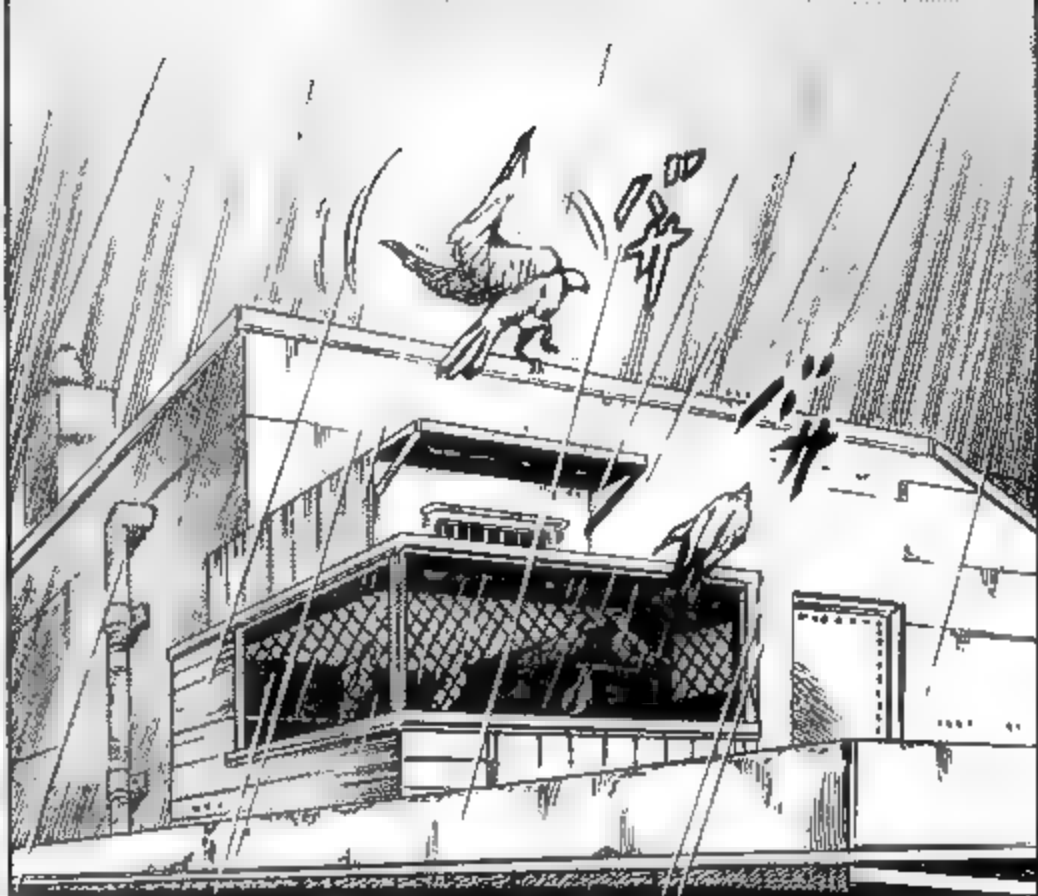
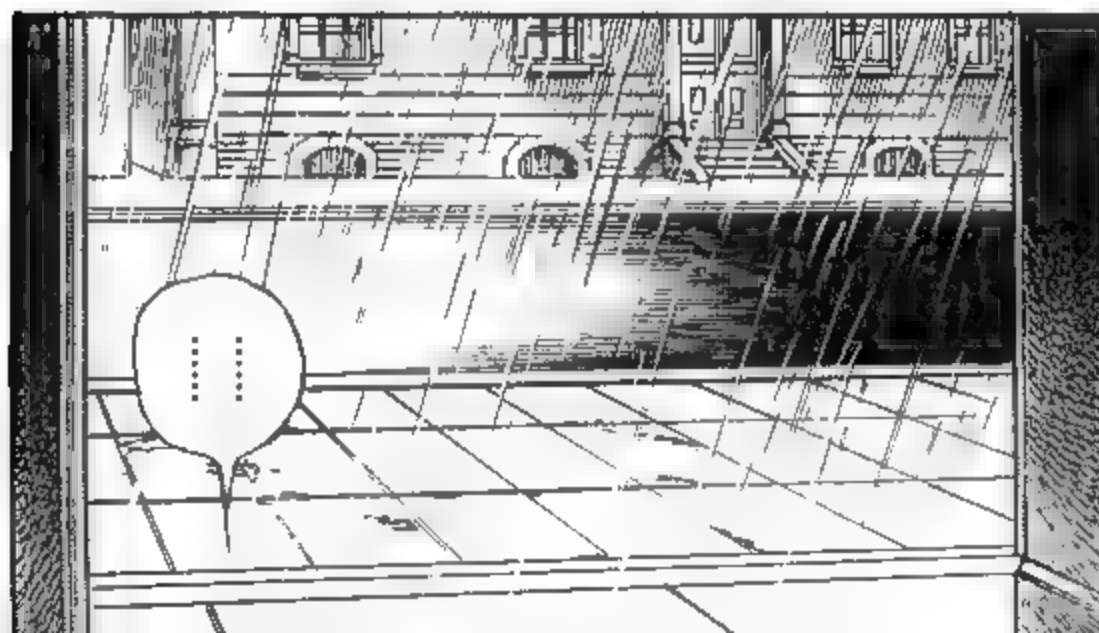
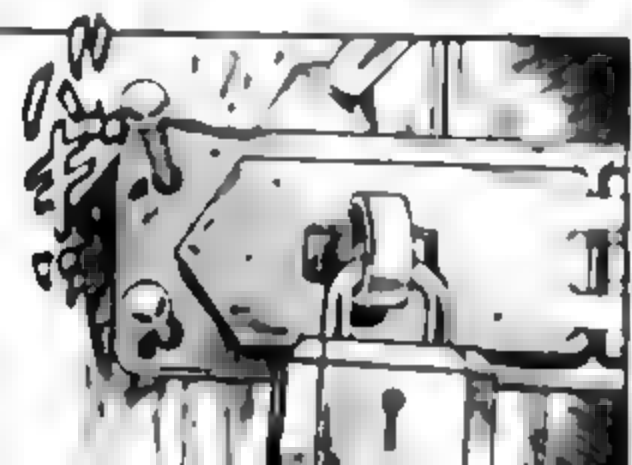
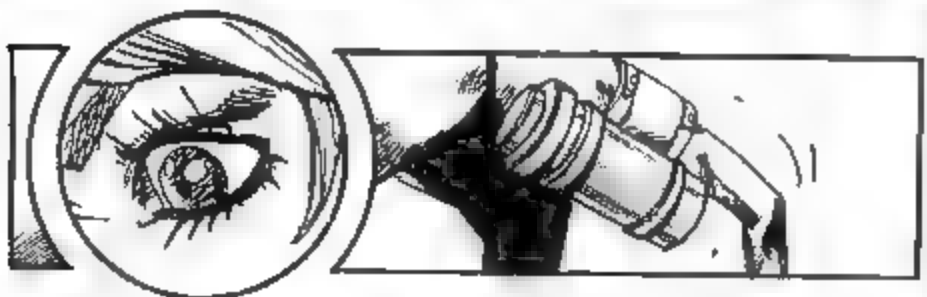
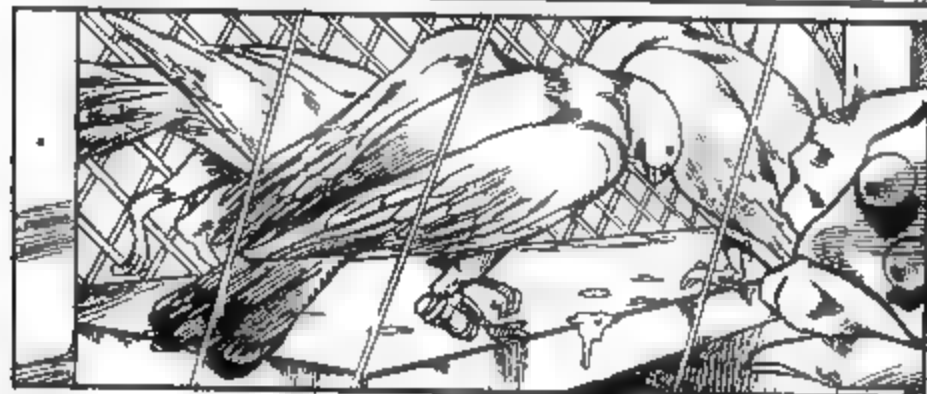
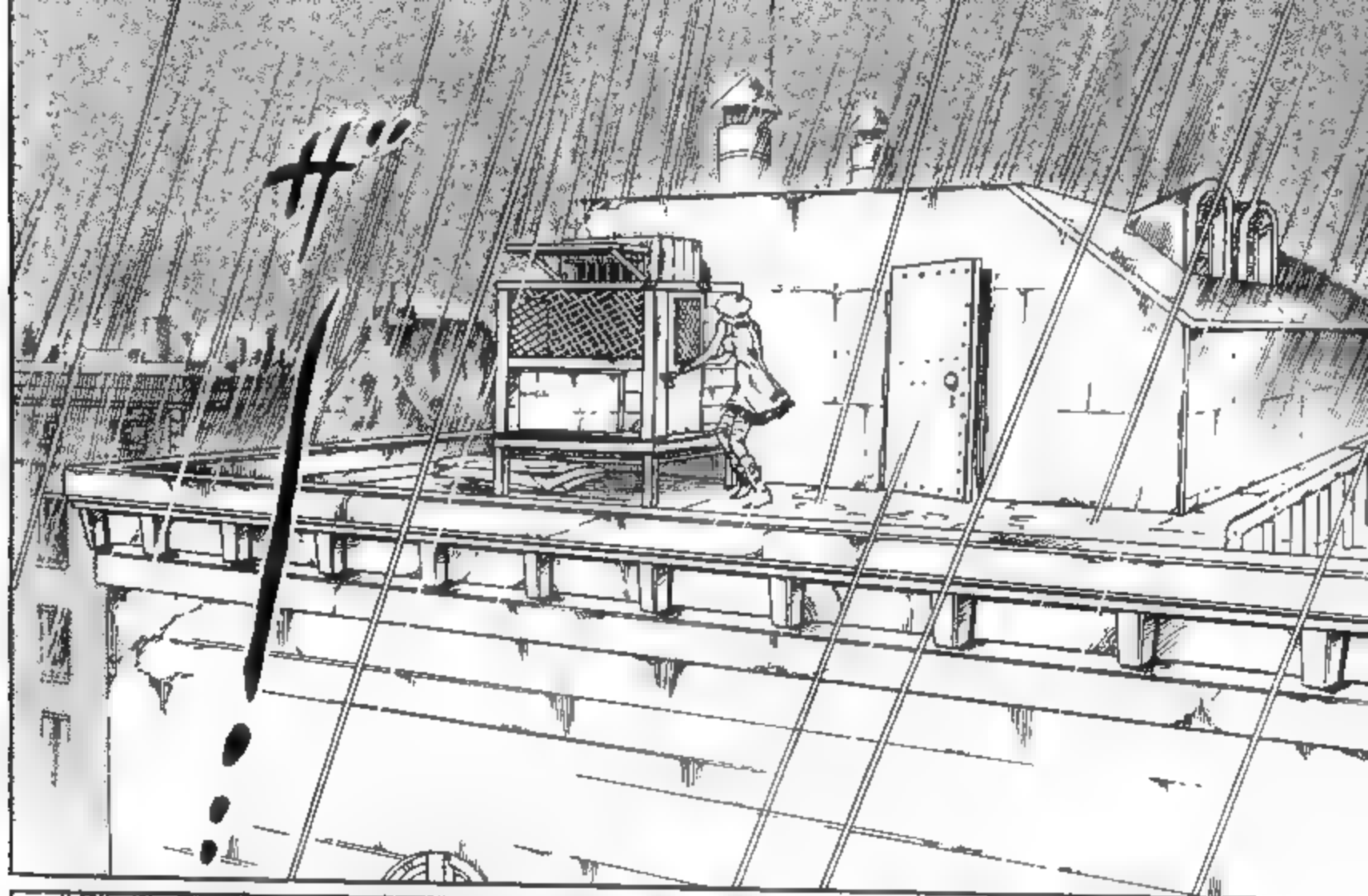
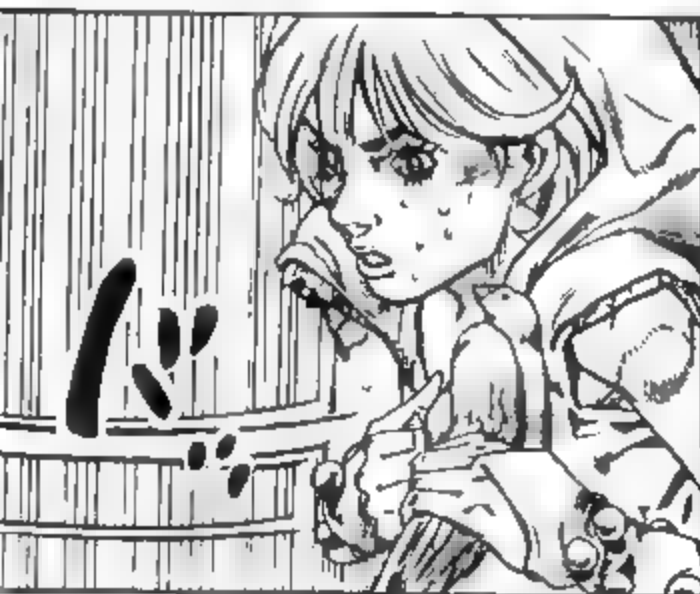
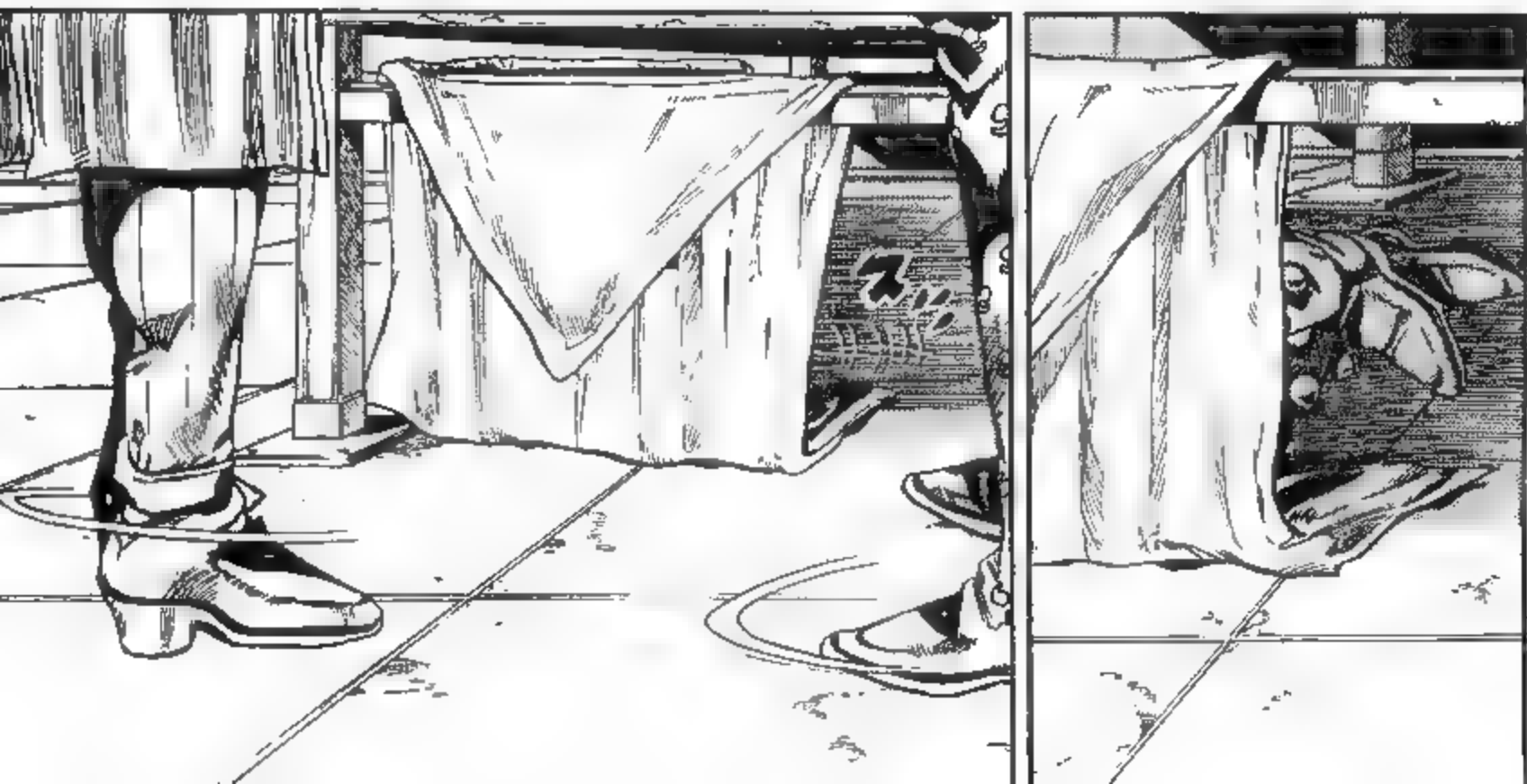
ええ…勿論 存じてますわ
この建物が 政府所有だって事は……
ですから 中にいる 彼に このお弁当 渡してもらえる だけでいいの
彼…… 今朝 忘れて 行ったから
ご存知でしょ？ 夫はスティーブン・スティール
今すぐにお願い お昼過ぎてから じゃあ意味ないし……
…… ……

ハァ
ハァ
ハァ
?
ザッ

ザ
ガチャ
ガチャ
そろそろ来る頃なのだ…
リンゴォが鳩を飛ばした形跡は間違いなくある
それはどんな情報だと思う？

なんだ……
!?
おかしいぞ
このドアが開いている……
今朝 鳩小屋を調べた時は閉めた筈だ…その後誰かここに来たか？

……
ガッ!
ガッ!
ギギ
キョロ
キョロ
ギギ

ドガ
ドガドガ
ドガ

どうだ？
鳩は来てるか？
すいませェん
メッセージを持った鳩は見当たりませェん
到着はまだのようです
……

君はどう思う？
一日に2000km飛行する鳩もいるという…

その鳩でなくても
今朝あたり
到着する筈なのだ
この小屋に
…そして情報は
リンゴォがワザワザ死ぬ前に
飛ばす程のものだ

一体
それ程のものとは
……
どんな情報だと
思う？

すいませェん
……

わたくしには
なんとも
見当もつきません

まさかだよ
…な…

まさか
あれの位置と
いう事はな…

遺体のある位置らしき
次の数字が判明する。
ラテン語で TURBŌ
N. 39° 6° 24°
W. 94° 40° 6°
Ringo Ro

大統領……
しばしお待ちを……

この鳩小屋
何かおかしい
変な雰囲気です

…………

どういう事だ？
なぜ「一羽」だけ
到着して
もう「一羽」は
まだなのだ

だんだん
おかしくなって
来ました

この「錠前」……

一度壊されて
この木ネジ部分が
打ち直された
形跡がある…

つまり
何が言いたい？
ブラックモア
……

こういう事か？

何者かが
この屋上に来て
この鳩小屋を
こじ開けたと？

今
そこのドアも
開いていた…

だが考えられない……
「誰が」!!
「何のため」に？
そんな事をする者がいるのか？
このカンザス・シティに…

すみませェん 大統領

確実に・・・二羽とも到着しているようですッ！

鳩の入口部分にその跡があるッ！雨に濡れた二羽の形跡がッ！

しかも この鳩の翼も雨がまだ乾いていないッ！

間違いないのか？だが理解不能だ……
この建物の中に……「何者」かがいるという事か？たった今！
「メッセージ」のついた鳩を盗んだという事かッ!?
そんな事をする者が……!?

…………
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
…………
……

………………う
!!

コツッ
コツッ
コツッ

ガシィ…
!!

バサ
!
!!

メッセージのついた鳩だッ!!
何しているッ 早くつかまえろッ! ブラックモアッ!!
はいィ… すいませェん
大統領 今追います

ボッ
ボッ
ボッ
!!
!?
………
ドドドド

ドドド

ポ
ポツ

バサバサ

……『空』です
大統領……
メッセージは入って
おりません……
カプセルの中は……
スイませェん
……「空」です
……
ギギギ…
ギイイ

「キャップ」だ！
鳩の足についてるカプセルのフタだ！
今誰かがここにいたッ！
この場所でメッセージを抜き出されているッ！
たった今だッ！
何者だッ!?
こいつはすでにリンゴォの隠しメッセージの存在を知っていたッ!!

ハァ
ハァ
ハァ
バタン
この階だ!
この階を調べろ!
下には誰も来ていないッ!
ハァ
ハァ

ドドドド
ドギャ ドギャ
ドド

非常事態だ！
何者かが この建物に
侵入しているぞ!!
このビルを
封鎖しろ…!!
いいか
完全に封鎖だッ!!
そして『射殺』も
許可するッ!!

………

くり返すッ！
侵入者の射殺を
許可する！！
警備レベルは
最大だッ!!
決して
誰も この建物から
外へ出すなッ!!
ドドドドド
ハァ ハァ
ハァ ハァ ハァ

廊下がやけに騒がしいな

ドヤ

ドガ

ガタ

何事だ？

何の騒ぎだ？

リンゴォ・ロードアゲインが送ってよこしたメッセージの内容は!

……間違いない……

次の『遺体』のある場所だ……

だが……どういう事だ……!?

ツェペリとジョースターの他にこのわたしの『見えない敵』がいる……

このビルの中に!!

ドドドドド

8 男の世界へ（完）

荒木飛呂彦のコミックス

大好評発売中!!

時空を超えて受けつがれる偉大なる魂の物語——。

ジャンプコミックス 新書判

ジョジョの奇妙な冒険

ジョナサン・ジョースターからジョルノ・ジョバァーナまで！
奇妙な冒険譚で綴る、荒木ワールドの真骨頂！